

石川県こころの健康センター所報

第 37 号

(平成26年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2015 —

目 次

こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

平成26年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
（1）精神障害者保健福祉手帳の交付	8
（2）自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
（3）精神医療審査会	11
2 相談課業務	
（1）技術指導及び技術援助	13
（2）教育研修	15
（3）普及啓発	18
（4）精神保健福祉相談	22
（5）組織育成	30
（6）調査研究	33
（7）ひきこもり社会参加復帰支援事業	34
（8）依存症関連問題指導事業	37
（9）ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	39
（10）自殺予防対策推進事業	40
（11）子どもの心のケア推進事業	47
（12）精神障害者地域生活支援事業	52
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
（1）発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	53
（2）精神科医による相談事業	56
（3）青年期グループ活動	57

(4) 就労者グループ活動57
(5) 親のつどい57
(6) 関係機関等との調整会議57
(7) 機関コンサルテーション58
(8) 個別支援のための調整会議59
(9) 普及啓発及び研修60

資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）66
2 普及啓発活動71
3 関係機関・団体との連携72
4 家族教室及びメンタルヘルス74
5 集団指導活動（精神障害者社会復帰相談指導事業）75
6 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧76

こころの健康センター概要

1 沿 革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現所在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。

- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業(CRT)を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。

2 施設の概況

(1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

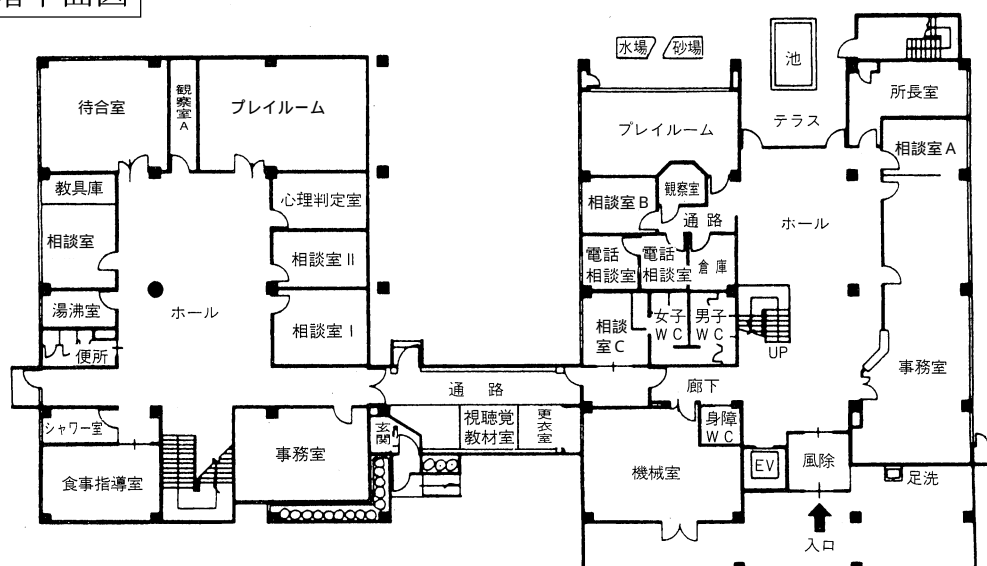
敷地 3,141m²

(2) 建地

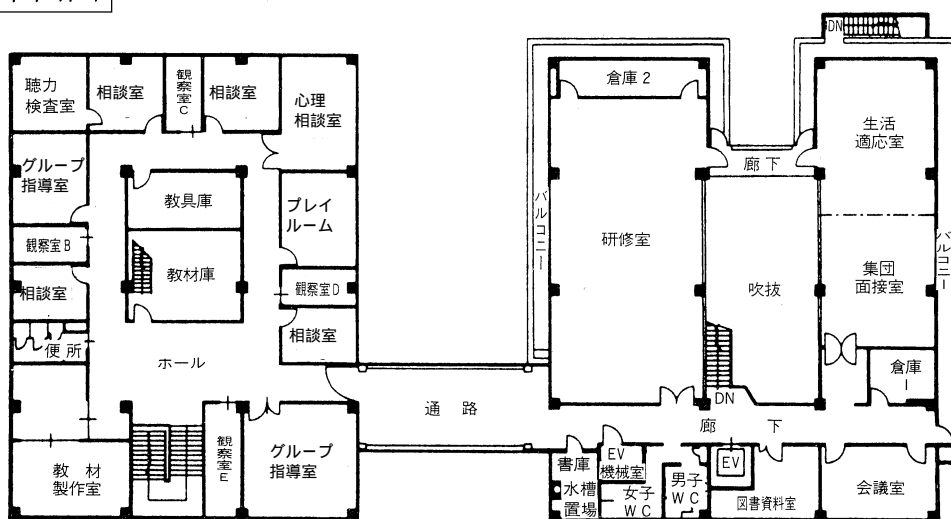
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26m²

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

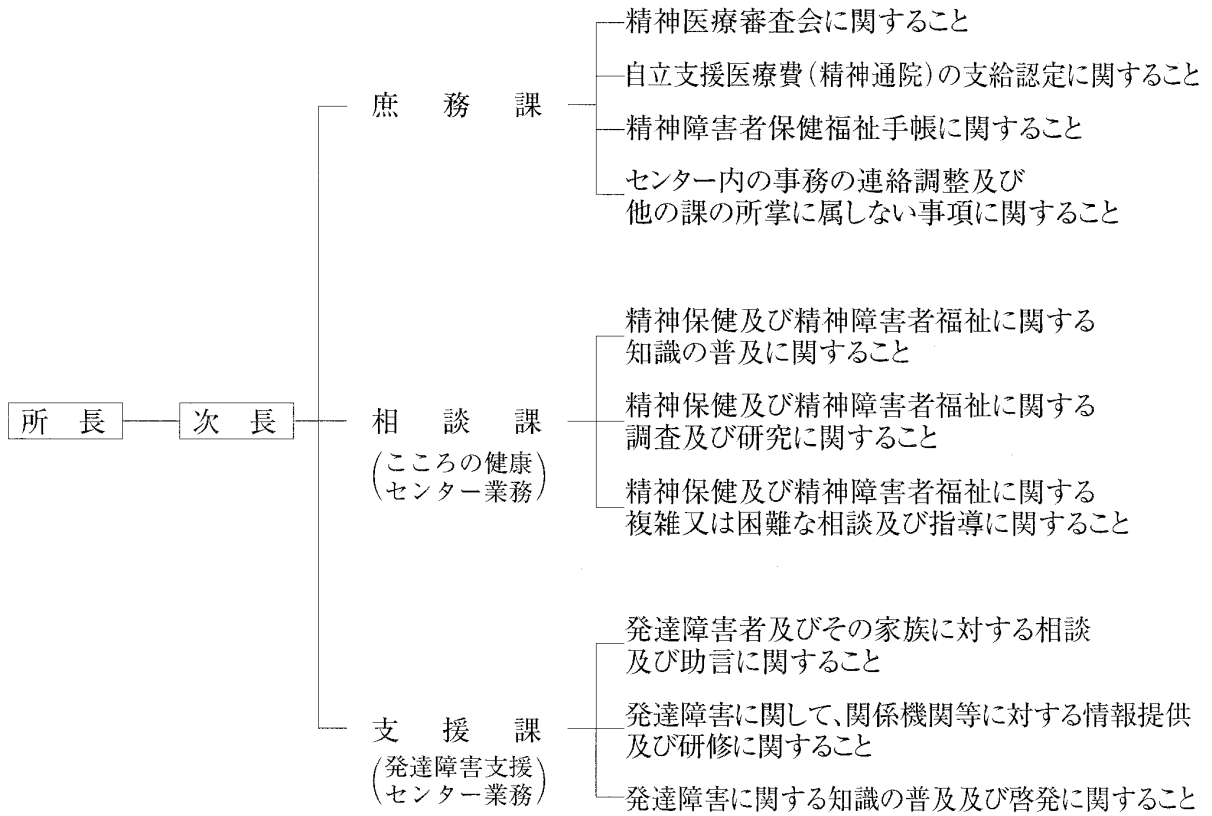


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(平成27年11月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 士	福 祉 指 導 員	保 育 士	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3	4	1	3		6	1	3		21
	兼 務	1				1						2
嘱託	常 勤							1			1	2
	非 常 勤	3						2	4			9
臨時職員											1	1
計		4	3	4	1	4		9	5	3	2	35

(3) 課別職員数

(平成27年11月1日現在)

課 名	職 種	職 員		嘱 託		臨時 職員	計
		常 勤	兼 務	常 勤	非常勤		
所 長	医 師		1				1
次長兼庶務課長	事 務 職 員	1					1
庶 務 課	看 護 師	3					7
	事 務 職 員	2					
	事 務 補 助 員			1		1	
相 談 課	医 師				2		18
	保 健 師	2					
	精 神 保 健 福 祉 士	1					
	福 祉 指 導 員	2	1				
	心 理 判 定 員	3			2		
	電 話 相 談 員	1			4		
支 援 課	医 師				1		8
	保 育 士						
	保 健 師	1					
	看 護 師	1					
	福 祉 指 導 員	1					
	心 理 判 定 員	3		1			
計		21	2	2	9	1	35

4 業 務

庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費(精神通院)の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」(平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知)により、次の業務を行っている。

- (1) 企画立案
地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をする。
- (2) 技術指導及び技術援助
地域精神保健福祉活動を推進するため保健所、市町及び関係諸機関等に対し、専門的立場から技術指導及び技術援助を実施する。
- (3) 教育研修
保健所及び精神保健福祉に関係する諸機関の職員の技術的水準の向上を図るために、教育研修を実施する。
- (4) 普及啓発
県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識と精神障害についての正しい知識等の啓発普及を行うため、パンフレットやパネルを作成したり、ビデオやDVDの貸し出しをする。また同様の趣旨で職場、学校、福祉関係機関、市町の公民館などで開催される講演会や研修会へ講師を派遣する。
- (5) 調査研究
地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備をする。
- (6) 精神保健福祉相談
幼児から老人まで、また自分自身のことから家族・同僚に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じる。
- (7) 特定相談指導事業
アルコール関連問題や薬物関連問題、思春期精神保健に関する相談に応じ、関連問題の発生予防、精神的健康の保持増進への援助をする。

- (8) 組織育成
地域精神保健関係団体の育成に努め、活動に協力する。
- (9) 青年期心の健康づくり推進事業
主に 18 歳以上の若者のひきこもり問題に対して、関係機関とネットワークを作り支援していく。併せて、保護者等の家族教室、および本人のためのグループ活動を実施する。
- (10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業
ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設し、関係機関連絡会を開催して、問題改善のための連携強化を図る。
- (11) 自殺対策推進事業
自殺者数は、平成 25 年度から減少に転じ自殺率は全国 1 位となった。自殺予防キャンペーン、自死遺族交流会、依存症教室、ゲートキーパー養成研修や関係機関との連携などを実施している。
- (12) 子どもの心のケアネットワーク事業
子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指しての相談対応や事例検討会、地域の保育所等への巡回、関係者育成セミナーなど平成 20 年度より実施している。
- (13) 関係機関との連携
地域精神保健福祉活動の円滑な推進を図るために保健所等との精神保健福祉業務連絡会を開催する。
全国(69ヶ所)及び中部・近畿ブロックの精神保健福祉センター長会(20ヶ所)と中部ブロックの精神保健福祉センター連絡協議会(11ヶ所)に参加している。

支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害支援センター業務を担い「発達障害支援センター運営事業の実施について」(平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

平成26年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

交付手続き

申請書に写真（上半身）とア又はイの書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

イ 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成26年度は22回開催した。

手帳の有効期間

2年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表 1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 22年度	申請	2,578	1,301	1,277	557	287	744	990	
	交付	1級	357	240	117	79	26	161	91
		2級	1,878	869	1,009	384	232	485	777
		3級	264	132	132	61	25	71	107
		計	2,499	1,241	1,258	524	283	717	975
平成 23年度	申請	2,849	1,461	1,388	612	350	849	1,038	
	交付	1級	330	208	122	65	25	143	97
		2級	2,124	1,026	1,098	425	282	601	816
		3級	330	179	151	91	37	88	114
		計	2,784	1,413	1,371	581	344	832	1,027
平成 24年度	申請	2,887	1,435	1,452	574	285	861	1,167	
	交付	1級	311	191	120	55	23	136	97
		2級	2,200	1,036	1,164	409	224	627	940
		3級	321	182	139	93	30	89	109
		計	2,832	1,409	1,423	557	277	852	1,146
平成 25年度	申請	3,260	1,697	1,563	651	362	1,046	1,201	
	交付	1級	283	168	115	48	24	120	91
		2級	2,515	1,300	1,215	509	275	791	940
		3級	415	224	191	91	51	133	140
		計	3,213	1,692	1,521	648	350	1,044	1,171
平成 26年度	申請	3,387	1,640	1,747	660	377	980	1,370	
	交付	1級	267	147	120	35	24	112	96
		2級	2,646	1,231	1,415	492	300	739	1,115
		3級	426	248	178	123	41	125	137
		計	3,339	1,626	1,713	650	365	976	1,348

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

申請手続き

申請書にア又はイの場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

支給認定の有効期間

1年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況（単位：件）

年度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成22	12,041	1,956	2,650	6,100	1,219	116
平成23	13,060	2,149	2,925	6,449	1,404	133
平成24	13,122	2,165	2,766	6,456	1,607	128
平成25	14,060	2,390	3,026	6,770	1,716	158
平成26	14,522	2,549	3,123	6,849	1,821	180

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成17	556	2,121	481	3,158	8,835
平成18	607	2,355	501	3,463	9,582
平成19	631	2,591	475	3,697	9,547
平成20	662	2,880	481	4,023	9,890
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成27年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	35	37	22	2	37	20	257	10	9	4
	2級	255	328	193	15	502	195	2,412	161	111	112
	3級	72	100	41	5	89	35	285	19	20	8
	計	362	465	256	22	628	250	2,954	190	140	124
通 院		814	1,196	541	48	1,142	519	6,081	410	357	275
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	7	7	10	38	8	11	2	11	5	532
	2級	75	57	38	285	74	107	29	75	46	5,070
	3級	20	19	10	37	13	15	2	12	12	814
	計	102	83	58	360	95	133	33	98	63	6,416
通 院		261	221	143	910	271	353	125	230	177	14,074

(3) 精神医療審査会
設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

- ア 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書
- イ 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ置き、審査は月1回交互に行う。

平成26年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成17	24	23	-	13	-	1,201	-	1,716	-	2,954	-
平成18	22	22	-	19	-	1,151	-	1,968	-	3,160	-
平成19	22	22	-	21	-	1,151	-	2,143	-	3,337	-
平成20	24	23	-	17	-	1,184	-	2,214	-	3,439	-
平成21	30	26	-	23	-	1,253	-	2,310	-	3,616	-
平成22	27	23	-	23	-	1,234	-	2,348	-	3,632	-
平成23	50	33	-	31	-	1,316	-	2,343	-	3,740	-
平成24	37	33	-	31	-	1,314	-	2,487	-	3,869	-
平成25	34	25	-	30	-	1,287	-	2,577	-	3,928	-
平成26	29	29	-	25	-	1,294	-	2,683	-	4,031	-

：入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 26 年度の技術援助回数は 890 回で、そのうち保健所（県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。）へは 182 回（20.4%）で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関へは 708 回（79.6%）であった。

支援内容としては、関係機関との連絡調整が 393 回と一番多かった。

ア 保健所（保健福祉センター）

平成 26 年度における保健所からの要請による技術援助は 182 回で、関係機関との連絡調整が 61 回と一番多く、次いで情報提供が 58 回であった(表 1)。

表 1 保健所への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事例 検討会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	協力 組織の 育成	関係機関 との連絡 調整	患者 クラブ 活動等 援助	情報 提供・ その他
南加賀保健福祉センター	53	2	1	8		20	2	20
石川中央保健福祉センター	41	6	1	4		19		11
能登中部保健福祉センター	33	6		5	1	6	4	11
能登北部保健福祉センター	35	7		5		7	9	7
金沢市福祉健康センター	20	1		1		9		9
合 計	182	22	2	23	1	61	15	58

イ 関係機関（保健所を除く）

平成 26 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は 708 回で、関係機関との連絡調整が一番多く 332 回、次いで情報提供・その他の 256 回であった。

関係機関の区分別では国・県への技術援助が 174 回と一番多く、次いで教育 97 回、市町 90 回、医療 87 回の順になっている（表 2）。

表 2 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事 例 検 討 会	相 談 訪 問 指 導	知 識 の 普 及 ・ 保 健 活 動	協 力 組 織 の 育 成	関 係 機 関 と の 連 絡 調 整	患 者 ク ラ ブ 活 動 等 の 援 助	情 報 提 供 ・ そ の 他
国 ・ 県	174	10		12		69	1	82
市 町	90	10	1	9	1	46		23
医 療	87	8		6		29	1	43
福 祉	31	3		3		18		7
教 育	97	4	1	7		59		26
労 働	42	6		5		21		10
各 種 精 神 保 健 団 体	16			3	2	4		7
学 生 教 育 ・ 実 習	13			2		4		7
障 害 者 支 援 施 設 等	60	2	1	2	1	47		7
司 法	18					6		12
そ の 他	80	3	1	12	2	29	1	32
合 計	708	46	4	61	6	332	3	256

(2) 教育研修

平成 26 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 8 回開催した。

ア 精神保健福祉担当者初任者研修会

地域における精神保健福祉業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（3 年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に初任者研修を実施した。

日時	内 容	参加数
平成 26 年 5 月 12 日 (月)	開会・オリエンテーション	55 人
	講義 「精神障害者に関する基礎知識～理解と援助～」 こころの健康センター 所長 角田 雅彦	
	講義 「石川県における精神保健福祉行政」 県障害保健福祉課 医療支援グループリーダー 石原 雅子	
	講義 「精神障害者の社会資源の活用」 こころの健康センター 相談課担当課長 川本 晶広	
	グループワーク 「日頃の相談支援活動から思うこと」	
平成 26 年 5 月 19 日 (月)	講義 「精神保健福祉の動向」 こころの健康センター 次長兼相談課長 飯田 芳枝	57 人
	講義 「精神保健福祉法 ～入院形態・自立支援医療・精神保健福祉手帳～」 こころの健康センター 相談課担当課長 飯田 芳枝 庶務課主任主事 西野 邦枝 庶務課主事 沢井 章悟	
	講義 「権利擁護に関する基礎知識」 県障害保健福祉課 医療支援グループ専門員 岩尾 貴	
	講義 「ひきこもり、発達障害等の理解と支援」 こころの健康センター 相談課担当課長 川本 晶広 支援課長 北川 ゆみ子	
	講義 「インテーク面接」 こころの健康センター 相談課担当課長 川本 晶広	

イ ひきこもり支援者研修会 （詳細は P35～36 参照）

<1 回目>

日 時	平成 26 年 12 月 6 日（土）13:00～16:00
内 容	講演・演習「ひきこもりケースのアセスメント技術を高める」 講師 大正大学人間学部臨床心理学科 教授 近藤 直司（精神科医）

<2 回目>

日 時	平成 27 年 2 月 3 日（火）10:00～16:00
内 容	講演「ひきこもり支援の基本的な視点と方法」 講義・演習「ひきこもりケースの具体的対応～家族支援、面接技法など～」 講師 白梅学園大学子ども学部子ども学科 教授 長谷川 俊雄 （社会福祉士・精神保健福祉士）

ウ アルコール関連問題研修会 （詳細は P37 参照）

日 時	平成 26 年 10 月 31 日（金）10:00～12:00
内 容	講演「依存症のグループプログラムの立ち上げについて」 講師 肥前精神医療センター 医長 武藤 岳夫（精神科医）

エ 自殺予防関連研修会

（ア）ゲートキーパーリーダー養成研修会 （詳細は P44 参照）

日 時	平成 26 年 8 月 8 日（金）13:30～16:30
内 容	講義・演習 「悩んでいる人への接し方～メンタルヘルス・ファーストエイドによる支援～」 講師 岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座 特命教授 大塚 耕太郎（精神科医）

（イ）救急告示医療機関職員等に対する研修会 （詳細は P45 参照）

日 時	平成 26 年 8 月 8 日（金）19:00～21:00
内 容	講義 「自殺未遂者への支援」 講師 岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座 特命教授 大塚 耕太郎（精神科医）

オ 子どもの心の支援者研修会（詳細は P50 参照）

< 1 回目 >

日 時	平成 26 年 8 月 22 日（金）10:00 ~ 12:00
内 容	事例検討 「思春期の子どもたちの心の問題」 講師 東京都立小児総合医療センター副院長 田中 哲（児童精神科医）

< 2 回目 >

日 時	平成 26 年 9 月 21 日（土）10:00 ~ 12:00
内 容	事例検討 「子どもの不安への対応」 講師 埼玉医科大学神経精神科 助教 庄野 伸幸（臨床心理士）

カ 学生実習

学 校 名	実施日数	受講者数
金沢工業大学大学院（臨床心理学専攻）	1 日	6 人
保育専門学園専攻科	2 日	13 人
中部学院大学	15 日	1 人
金沢大学医薬保健学域保健学類	1 日	80 人

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

ア 講演会

(ア) 依存関連問題研修会

<1回目：インターネット依存>

日 時	平成 26 年 7 月 28 日 (月) 14:00 ~ 16:30
場 所	金沢市勤労者プラザ
内 容	講演 「ネット依存症の実際と対応～事例から学ぶ学校や家庭ができること～」 講師 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 主任 三原 聡子 (臨床心理士)
参加者	一般県民、保健・医療・福祉・司法関係従事者等 113 人

<2回目：アルコール依存>

日 時	平成 26 年 10 月 31 日 (金) 13:30 ~ 16:10
場 所	石川県こころの健康センター
内 容	講演「依存症の理解と対応～実践からの動機づけ～」 講師 肥前精神医療センター 医長 武藤 岳夫 (精神科医) 当事者(回復者)の方による体験談
参加者	一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係従事者等 46 人

イ 講師を派遣した講演会

	派遣先	内容	回数	参加人数
国	金沢地方気象台	講話「ストレスと心の病気～職場のメンタルヘルス」	1	17人
県	消防学校	メンタルヘルスについて	2	74人
	七尾児童相談所	思春期における心理特性の基礎知識と支援～自傷・不登校・自閉症スペクトラムなどについて～	1	25人
	福井県	福井県自殺対策専門研修	1	70人
市町	かほく市教育委員会	ストレスに打ち勝つために	1	25人
	七尾市健康推進課	気づいてますか心の危険信号	1	50人
	白山市メンタルヘルス検討部会	出前講座（子どものメンタルヘルス普及啓発事業）	1	6人
保健所	南加賀保健福祉センター	自殺未遂者への支援の重要性	1	50人
	南加賀保健福祉センター	ひきこもり家族教室	2	40人
	能登中部保健福祉センター	ひきこもり家族教室	3	20人
	能登北部保健福祉センター	ひきこもり家族教室	3	22人
教育	小松市立松陽中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	212人
	小松市立中海中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	64人
	小松市立国府中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	76人
	小松市立松東中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	35人
その他	石川薬剤師会	向精神薬服薬リスク未然防止事業研修会	1	80人
	金沢こころの電話	若者における心の理解	1	40人
	悲しみ110	うつを知ろう～うつ病とうつ状態～	1	12人
	畠&スターシップ税理士法人	職場のメンタルヘルス	2	120人
	ニッコウ	勤労者に多い精神疾患について	1	40人
計			27	1,078人

ウ マスコミ活用

期 日	内 容	報 道 機 関
H26 . 4 . 8	自殺予防について	新聞社 1 社
H26 . 4 . 9	ゲートキーパー養成の DVD について	新聞社 1 社
H26 . 4.15	自殺予防について	新聞社 1 社
H26 . 5.28	依存症教室開催案内について	新聞社 2 社
H26 . 7 . 4	トゥレット症候群について	新聞社 1 社
H26 . 9 . 2	ハローワークにおけるこころとくらしの悩み総合相談会について	新聞社 1 社
H27 . 2 . 16	御嶽山噴火被害に関する相談について	新聞社 1 社
H27 . 2 . 17	「若者の生きづらさを考える」講演会について	新聞社 1 社
H27 . 2 . 28	「若者の生きづらさを考える」講演会について	新聞社 2 社 , TV 局 1 社

エ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒 体	内 容	発行部数
センター だより	第 82 号 特集「ひきこもりからの回復と支援」 第 83 号 特集「大人の発達障害」	各 600 部
講演録	平成 26 年度アルコール関連問題講演会 「依存症の理解と対応～実践からの動機づけ～」	400 部
	平成 26 年度第 3 回子どものこころの問題に携わる関係者育成研修会 「子どもの自傷行為への理解と対応 ～子どもの生きづらさを考える～」	400 部
冊子	アルコール・薬物依存症教室テキスト	300 部

オ 普及啓発資料の貸し出し

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っている。平成 26 年度は 38 件で、市町からの依頼が最多であった。

カ ホームページの更新

アドレス <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html>

キ 自殺予防街頭キャンペーン

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間を「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に街頭キャンペーンを実施した。

- 日 時 平成26年9月10日(水) 7:30～8:30
 場 所 JR金沢駅東口、香林坊大和前
 内 容 ・街頭での自殺予防の呼び掛け
 ・啓発用グッズの配布(オリジナル付箋、クリアファイル、ティッシュ等)
 ・キャンペーンのぼりの設置

ク 自殺予防に関する普及啓発資料

媒体	内 容	発行部数
チラシ	講演会・シンポジウム「高齢者のかけがえのない命をまもるために」	5,000部
	講演会・シンポジウム・相談会「若者の生きづらさを考える」	7,000部
	石川県ゲートキーパー手帳「かけがえのない命をまもるために」	20,000部
ポスター	ほっとハート店ゲートキーパーポスター	1,400部
パンフレット	かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ	2,000部
冊子	石川県ゲートキーパー手帳「かけがえのない命をまもるために」	5,000部
啓発グッズ	オリジナル付箋紙	2,200部
	ほっとハート店配付用「こころのキズバン」	20,000部
	マグネット付きクリアファイル	1,000部
	スティックのり	2,400本

ケ 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成26年度は第19回となる。

当初、知的障害と身体障害の2障害合同形式で開催されていたものだが、平成11年度から精神障害関係団体が加わり3障害合同で開催されている。

- 日 時 平成26年9月28日(日) 10:00～16:00
 場 所 石川県産業展示館4号館
 参加者 約15,000人
 内 容 福祉相談コーナー(こころの健康相談)

(4) 精神保健福祉相談

平成 26 年度の精神保健福祉相談延件数は、8,200 件で、電話相談 6,038 件、来所相談 2,162 件であり、昨年に比べ約 500 件の増加で、年々増加している。来所相談の新規相談は 586 件であった。そのうち今年度初めての新来相談件数は 293 件、前年度から再来した者等は 293 件であった。また家庭訪問は、55 件実施した。(表 1、表 2)

相談区分別では、「社会復帰」が 3,522 件で最も多く、次いで「心の健康づくり」が 1,790 件、「思春期」が 1,220 件の順であった。相談区分の再掲(複数回答)をみると、ひきこもりが 1,505 件と最も多く、次いで発達障害 802 件となっている(表 3)

年齢区分別では、「40～49 歳」が 2,033 件(24.7%)と最も多く、次いで「50～64 歳」が 1,528 件(18.6%)、「30～39 歳」が 1,427 件(17.4%)となっている(表 5、図 1)。

ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談のほか、専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、平成 26 年度の相談件数(延件数)は 6,038 件であり、性別で見ると男性 3,482 件、女性 2,556 件と、男性の方が 926 件多い(表 1)

相談区分別では、「社会復帰」が 3,343 件で最も多く、次いで「心の健康づくり」が 1,062 件、「うつ・うつ状態」が 445 件の順であった(表 3)

年齢区分別では、「40～49 歳」が 1,810 件(30.0%)と最も多く、次いで「50～64 歳」が 1,422 件(23.6%)を占めている(表 5、図 1)。

相談内容別では「精神障害者の生活上の問題」が 1,777 件(29.4%)と最も多く、次いで「病気の治療上の問題」597 件(9.9%)、「家庭内の問題」534 件(8.8%)の順となっている(表 6、図 2)

処遇としては、「傾聴・助言」が 5,161 件(85.4%)と最も多く、次いで「こころの健康センター(来所相談)へ紹介」が 401 件(6.6%)、「他機関紹介」が 309 件(5.1%)となっている(表 7)

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または囑託医(精神科医・小児科医)の診察を実施している。

平成 26 年度の来所相談件数(延)は 2,162 件で、年々増加している。

相談区分別では、「思春期」が 805 件で最も多く、次いで「心の健康づくり」が 728 件の順であった(表 3)

年齢区分別では、「30～39 歳」が 553 件(25.6%)と最も多く、次いで「19～24 歳」が 524 件(24.2%)の順となっている。(表 5、図 1)

相談内容別では、「ひきこもり」が 700 件(32.4%)と最も多く、次いで「性格・行

動上の悩み」が 289 件（13.4%）、「不登校・学校不適応」244 件（11.3%）と続いている（表 6、図 2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が 164 件と一番多い。次いで「医療機関(精神科・一般)」34 件、「施設・学校」「ハローワーク」各 19 件の順になっている（表 8）。

来所相談の診断別状況では、診断保留（669 件 32.3%）や医師の診察を受けておらず不明の者（419 件 19.4%）で継続的な関わりを続けている相談が 1,118 件（51.7%）と約半数を占める。診断された方は、「気分（感情）障害」が 308 件（14.2%）、「神経症性障害等」222 件（10.3%）となっている（表 9）。

処遇としては、「継続面接」が 1,735 件と最も多く、次いで「助言」の 247 件となっている。相談後、他機関に紹介した延べ件数は 190 件で、主な紹介先として「医療機関（主に精神科）」が延べ 131 件と最も多い（表 10）。

表 1 電話相談・来所相談件数

	男	女	合計
電話相談	3,482	2,556	6,038
来所相談	1,501	661	2,162
初回相談	322	264	586
新来	161	132	293
継続相談	1,242	493	1,735
合計	4,983	3,217	8,200

件数は延べ件数

電話相談は無言59件を除く

表 2 相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	家庭訪問
H22	7,088	1,452 (263)	8,540	
H23	5,479	1,432 (238)	6,911	
H24	5,626	1,291 (236)	6,917	10
H25	5,616	2,044 (346)	7,660	74
H26	6,038	2,162 (293)	8,200	55

注：（ ）は内数で新来相談件数

表3 相談区分別相談件数

	平成 26 年度			平成 25 年度			
	電話相談	来所相談	(新来)	合計	来所相談	(新来)	
老人精神保健	58	1	(1)	59	7	(5)	
社会復帰	3,343	179	(16)	3,522	147	(15)	
アルコール	62	17	(8)	79	11	(9)	
薬物	16	5	(2)	21	25	(7)	
ギャンブル	24	22	(5)	46	19	(5)	
思春期	415	805	(73)	1,220	830	(116)	
心の健康づくり	1,062	728	(77)	1,790	486	(47)	
うつ・うつ状態	445	279	(67)	724	232	(67)	
摂食障害	9	0	(0)	9	-	-	
その他	604	126	(44)	730	287	(75)	
計	6,038	2,162	(293)	8,200	2,044	(346)	
再掲 ()	ひきこもり	372	1,133	(54)	1,505	866	(62)
	発達障害	277	525	(51)	802	368	(45)
	自殺	179	106	(21)	285	121	(30)
	(再)自殺者の遺族	9	14	(1)	23	0	(0)
	犯罪被害	8	2	(1)	10	0	(0)
	災害	1	0	(0)	1	0	(0)

再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上
来所相談の(新来)は内数、電話相談は無言59件を除く
思春期は、13歳～24歳の者

表4 思春期相談(男女別:再掲)

区分	男	女	合計(延)
電話相談	227 件	188 件	415 件
来所相談	499	306	805
合計	726	494	1,220

思春期は、13歳～24歳の者

表5 電話相談・来所相談の年齢別状況

年齢区分	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談		件数	%
	件数	%	件数	%		
0～5歳	4件	0.1%	1件	0.0%	5件	0.1%
6～12歳	56	0.9	25	1.2	81	1.0
13～15歳	65	1.1	155	7.2	220	2.7
16～18歳	188	3.1	213	9.9	401	4.9
19～24歳	285	4.7	524	24.2	809	9.9
25～29歳	428	7.1	343	15.9	771	9.4
30～39歳	874	14.5	553	25.6	1,427	17.4
40～49歳	1,810	30.0	223	10.3	2,033	24.7
50～64歳	1,422	23.6	106	4.9	1,528	18.6
65歳以上	161	2.7	16	0.7	177	2.2
不明	745	12.3	3	0.1	748	9.1
合計	6,038	100.0	2,162	100.0	8,200	100.0

件数は延件数

電話相談は無言59件を除く

図1 電話相談・来所相談の年齢別状況

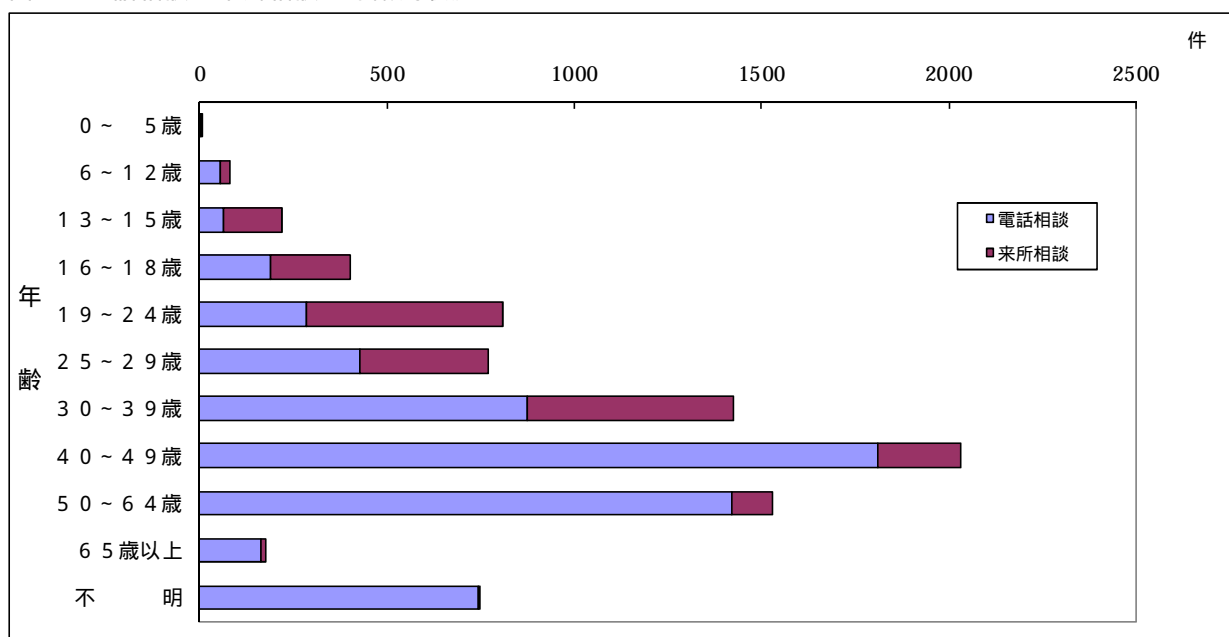


表6 電話相談・来所相談の相談内容別状況

相 談 内 容	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談		件数	%
	件数	%	件数 (実)	%		
発 達 上 の 問 題	41 件	0.7 %	118 件 (23)	5.5 %	159 件	1.9 %
不 登 校 ・ 学 校 不 適 応	189	3.1	244 (42)	11.3	433	5.3
ひ き こ も り	245	4.1	700 (74)	32.4	945	11.5
非 行 ・ 反 社 会 的 問 題	92	1.5	17 (4)	0.8	109	1.3
暴 力	69	1.1	96 (28)	4.4	165	2.0
家 庭 内 の 問 題	534	8.8	87 (36)	4.0	621	7.6
出 産 ・ 育 児 上 の 悩 み	57	0.9	2 (1)	0.1	59	0.7
更 年 期 の 悩 み	7	0.1	0 (0)	0.0	7	0.1
高 齢 者 の 問 題	22	0.4	1 (1)	0.0	23	0.3
仕 事 ・ 職 場 の 悩 み	241	4.0	136 (56)	6.3	377	4.6
身 体 上 の 悩 み	52	0.9	2 (1)	0.1	54	0.7
摂 食 障 害	14	0.2	1 (1)	0.0	15	0.2
性 格 ・ 行 動 上 の 悩 み	229	3.8	289 (56)	13.4	518	6.3
対 人 関 係 上 の 悩 み	262	4.3	97 (13)	4.5	359	4.4
ア ル コ ー ル 問 題	57	0.9	17 (10)	0.8	74	0.9
薬 物 問 題	16	0.3	5 (3)	0.2	21	0.3
ギ ャ ン プ ル 問 題	20	0.3	23 (7)	1.1	43	0.5
ア ル コ ー ル ・ 薬 物 以 外 の 依 存	27	0.4	17 (8)	0.8	44	0.5
性 に つ い て の 悩 み	35	0.6	9 (1)	0.4	44	0.5
日 常 生 活 に 関 す る 心 配 ・ 不 安	350	5.8			350	4.3
神 経 症	4	0.1	45 (4)	2.1	49	0.6
精 神 障 害 へ の 不 安	176	2.9	19 (11)	0.8	195	2.4
病 気 の 治 療 上 の 問 題	597	9.9	35 (12)	1.6	632	7.7
社 会 復 帰 ・ デ イ ケ ア の 問 題	215	3.6	19 (5)	0.9	234	2.9
精 神 障 害 者 へ の 対 応	83	1.4	21 (9)	1.0	104	1.3
精 神 障 害 者 の 生 活 上 の 問 題	1,777	29.4	154 (16)	7.1	1,931	23.5
情 報 提 供	93	1.5	4 (3)	0.2	97	1.2
そ の 他	534	8.8	4 (2)	0.2	538	6.6
合 計	6,038	100.0	2,162 (427)	100.0	8,200	100.0

件数は延件数（実件数）

電話相談は無言59件を除く

図2 電話相談・来所相談の相談内容別状況

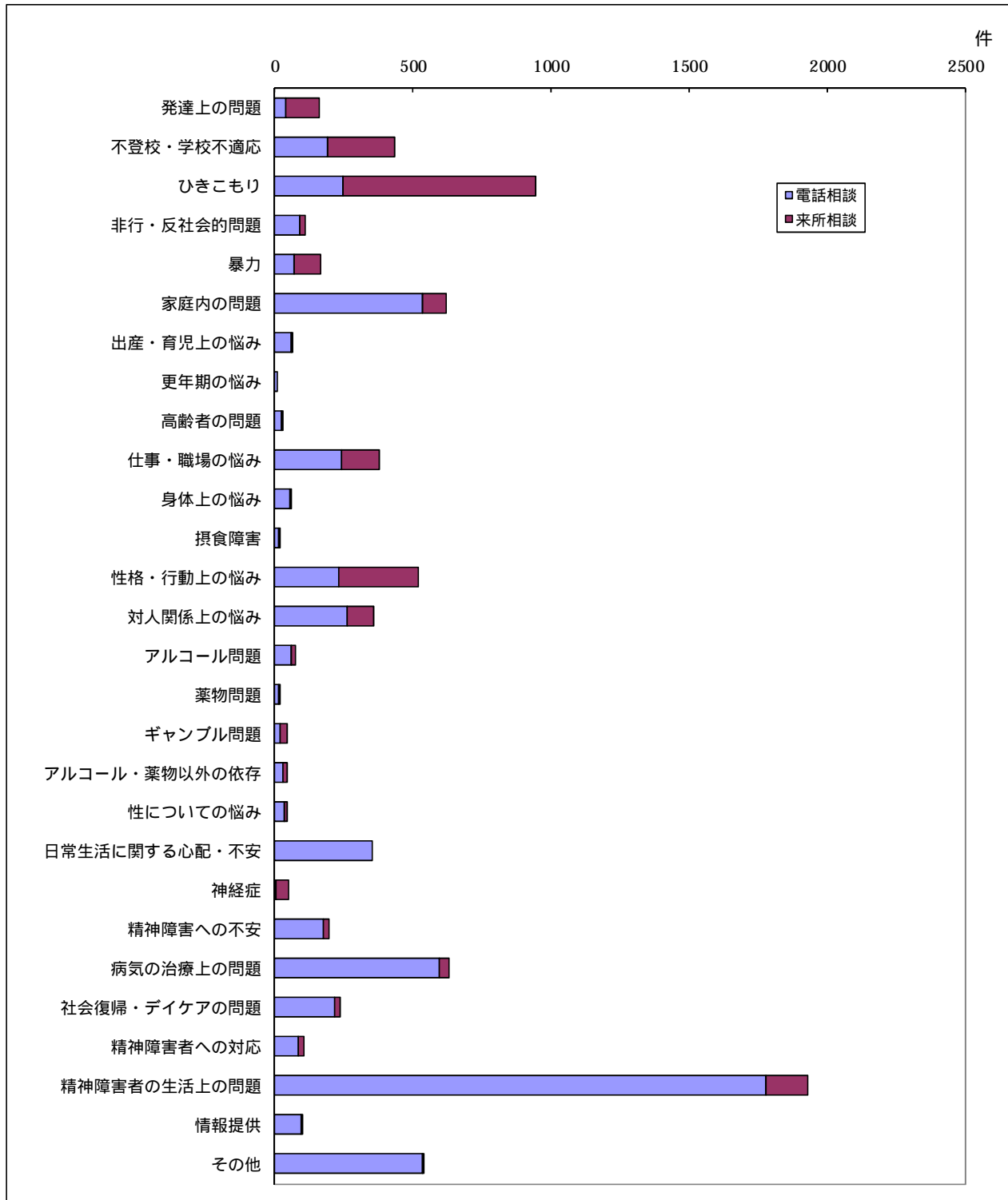


表7 処遇別相談件数（電話相談）

区 分	傾聴・助言	センター （来所相談） へ紹介	他機関紹介	その他	再連絡	合 計
件 数	5,161	401	309	104	63	6,038
%	85.4%	6.6%	5.1%	1.7%	1.0%	100%

件数は延件数

表8 新来相談の経路別状況

経 路	性 別		合 計
	男	女	
直 接	82 件	82 件	164 件
医 療 機 関（精神科）	10	15	25
医 療 機 関（一般科）	4	5	9
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （保 健 所）	3	1	4
児 童 相 談 所	0	2	2
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター （福 祉 事 務 所）	1	0	1
児 童 ・ 民 生 委 員	0	0	0
施 設 ・ 学 校	13	6	19
ハ 口 - ワ - ク （職業安定所・ジョブカフェ石川）	13	6	19
警 察	1	1	2
県 庁 ・ 市 町 役 場	7	2	9
そ の 他 の 相 談 機 関	15	7	22
こ こ ろ の 相 談 ダ イ ヤ ル	1	0	1
そ の 他 の 電 話 相 談	2	0	2
セ ン タ - 事 務 所 電 話 相 談	0	0	0
そ の 他	9	5	14
合 計	161	132	293

件数は延件数

表9 来所相談の診断別状況

来所者区分 診断名	初 回 相 談		継 続 相 談	合 計	
	1 件	新 来 1 件		1 件	0.0 %
症状性を含む器質性精神障害	1	1	0	1	0.0 %
精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	4	3	4	8	0.4
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	19	9	90	109	5.0
気分（感情）障害	65	46	243	308	14.2
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	27	19	195	222	10.3
生理的障害及び身体的要因に関連した 行動症候群	3	2	4	7	0.3
成人の人格及び行動の障害	13	10	4	17	0.8
知的障害 精神遅滞	7	3	88	95	4.4
心理的発達の障害	29	19	160	189	8.7
小児期及び青年期に通常発症する 行動及び情緒の障害	7	4	64	71	3.3
神経疾患等	8	8	7	15	0.7
てんかん	1	1	1	2	0.1
診断保留	135	91	564	699	32.3
不明	108	77	311	419	19.4
	427	293	1,735	2,162	100.0

件数は延件数

表10 処遇別相談件数（来所相談）

来所者区分 処遇状況	初 回 相 談		継 続 相 談	合 計	
	172 件	新 来 146 件			75 件
助 言	172	146	75	247	
診 察	29	22	63	92	
継 続 面 接（又 は 治 療）	210	115	1,526	1,736	
訪 問 指 導	10	5	45	55	
そ の 他	6	5	26	32	
合 計	427	293	1,735	2,162	
（再掲）診断書発行	2	1	7	9	
（再掲）紹介	医 療 機 関	58	48	73	131
	保 健 所	4	4	0	4
	福 祉 関 係	6	5	7	13
	教 育 機 関	1	1	4	5
	そ の 他	20	15	17	37
	計	89	73	101	190

件数は延件数

(5) 組織育成

平成 26 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、依存症自助グループ(A A、断酒会等)、石川県精神障害者家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は表 1 のとおりである。

表 1 協力組織へのかかわり

対 象	回 数	参加人数
依存症自助グループ	4	147
石川県精神障害者家族会連合会	82	492
石川県精神障害者支援事業所連絡協議会	10	91
石川県精神保健福祉協会	41	1,013
石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会	2	78
合 計	139	1,821

ア 依存症自助グループ

(ア) A A

石川県では昭和 63 年に A A 金沢グループが誕生し、現在は 7 グループが 19 ヶ所で活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティング、オープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

(イ) 断酒会

断酒会は、昭和 44 年に「北陸断酒新生会」が結成され、昭和 56 年から例会の会場を当センターで月 1 回提供し職員が参加していた。昭和 58 年には「石川県断酒新生会」、昭和 63 年には「石川県断酒連合会」と名称が変更され、例会は独自で開催されていたが、平成 23 年度末で「石川県断酒連合会」は解散となった。現在は、3 地区の断酒会が活動を継続しており、当センターとしては日頃の情報交換を通して活動支援を行なっている。

イ 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神障害者家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は昭和 48 年 6 月頃より石川県内の保健所単位に地域家族会として結成され、10 家族会 (会員数約 400 人) をもって昭和 49 年 2 月に連合会として発足した。

その後、地域家族会の統合を経て平成 26 年度現在では 11 地域家族会と 2 病院家族会、1 施設家族会で連合会を組織し、会員は 221 名である。

平成 26 年度は、10 月 16 日～17 日にかけて金沢市で「みんなねっと石川大会」が開催され、実行委員として運営に関わるとともに大会運営に関する支援をした。

表 2 石家連へのかかわり

内 容	回 数	参加人数
総会と講演会	2	96
神障害者家族会と病院長等との懇談会 精神保健福祉協会との共催	1	71
行政との懇談会	1	38
常務理事会、理事会等	15	147
「みんなねっと石川大会」	1	約 1,100
「みんなねっと石川大会」への事務局支援	9	118

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会

平成 5 年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、石家連の中に作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行ってきた。

平成 7 年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成 8 年 5 月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡協議会が発足し、石家連から分離して月 1 回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。

平成 26 年度、県内の精神障害者支援事業所 (18 ケ所) が参加している。また、石川県障害者ふれあいフェスティバルとみんなねっと石川大会では、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上を図るため、研修を行っている。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 26 年度会員は、個人会員 253 名、団体会員 27 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

期 日	内 容	対 象	人 数
26. 5.14	表彰審査委員会	委員	4 人
26. 5.10 ~ 27. 3.12 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	14 回 338 人
26. 4. 1 ~ 27. 3.31 まで	〃 の受付等	〃	13 回 13 人
26. 5.17	理 事 会	理事、監事等	9 人
27. 3.11	〃	〃	15 人
26. 6.14	総 会	会員、関係者等	46 人
〃	精神保健講演会 「認知症のケアと高齢者の権利擁護」 東京都立松沢病院院長 齋藤雅彦	会員、一般	55 人
26.12.11	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 「精神疾患の理解と対応について」 こころの健康センター所長 角田雅彦	関係機関職員、一般	71 人
26. 7.28	地域精神保専門委員会講演会 インターネット依存問題研修会 「インターネット依存の実際と対応～事例から学 ぶ学校や家族ができること～」	関係機関職員、 教育関係者、一般	113 人
26.10.31	精神保健福祉研修会 アルコール関連問題講演会「依存症の理解と対 応 ～実践からの動機づけ～」	関係機関職員、 保健所、一般	46 人
27. 2.27	産業と精神保健専門員会（書面審議）	委員	6 人
27. 2.28	精神保健福祉研究会 シンポジウム「若者の生きづらさ」～かけ がえのない若者の命を守るために～	会員、一般	250 人
26. 8.29 27. 3. 2	教育と精神保健専門委員会	委員	2 回 14 人
27. 3. 7	シンポジウム「学校と医療をつなぐ - 能登 地区での課題と連携を考える - 」	教育関係者	29 人
27. 3. 9	会報編集委員会	委員	4 人

計41回 1,013人

オ 石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会

昭和63年に当センターでメンタルヘルスポランティア講座が開催され、メンタルヘルスに関心がありボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成11年に連絡会が開催され、平成13年度に「石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会」が発足。平成26年度には県内のグループ数は8となっている。

(6) 調査研究

本年度調査研究なし

(7) ひきこもり社会参加復帰支援事業

青年期のいじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして当該事業を始めた。

当該事業は、青年期の問題のうち主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、相談や家族教室、家族交流会、ひきこもり当事者グループ、必要に応じてアウトリーチ（訪問相談支援）等の活動を行った。

また、今年度新たに「ひきこもりサポーター養成研修」を実施した。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日を設けることなく、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	372 件
来 所 相 談（うち、訪問相談）	1,133 件（26 件）
合 計	1,505 件

イ ひきこもり家族教室

ひきこもりの子どものことで悩む家族が、ひきこもり当事者の体験談を聞くことで、ひきこもっている子どもの心理や考えを理解するとともに、対応方法を学んだ。

日 時：平成26年8月31日（日）13:30～15:30

内 容：講義：「ひきこもり当事者グループ『悠友クラブ』参加者からご家族へのメッセージ」

対 象及び参加数：家族及び当事者、支援者等 55人

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族が、その経験や思いを共有することで孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱えている問題への対応能力を向上するための家族の交流する場を設け、グループ活動を支援した。

日 時：概ね偶数月第3日曜日 13:30～15:30

回 数：5回

内 容：ミニ講座 ウォーミングアップ（気分調べ） 家族同士の話し合い
（交流会） 気分調べ

対 象：「ひきこもり家族教室」と「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族及び、当センターで個別相談を継続している家族

表2 家族交流会の開催状況

回数	日時	ミニ講座	参加家族数
第1回	平成26年 5月18日	ひきこもりのメカニズム	14家族15人
第2回	平成26年 6月15日	ひきこもり支援機関について	12家族13人
第3回	平成26年10月26日	ひきこもり家族教室のふりかえり	14家族18人
第4回	平成26年12月21日	ひきこもり家族の体験談発表	21家族24人
第5回	平成27年 2月15日	お子さんへの声のかけ方を学んで みましょう	20家族23人

エ ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適應からの脱却を支援するとともに就労支援等を行った。

日 時：毎週水曜日 13:30～15:30

回 数：年 54回（定例 49回、臨時 5回）

内 容：第1週は当センターが行う学習会、その他はスポーツ、話し合い、しゃべり場、レクリエーション、カラオケなど参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね 18歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数 35人（男性 31人女性 4人）延べ 607人

定 員：概ね 15人程度

オ ひきこもり支援者研修会

（ア）1回目

相談機関等の関係者が、地域に潜在するひきこもりの早期発見と適切な支援、長期化を予防するために、ひきこもり支援に必要な知識と技術の習得を図った。

日 時：平成 26年 12月 6日（土）13:00～16:00

内 容：講演・演習「ひきこもりケースのアセスメント技術を高める」

講師 大正大学人間学部臨床心理学科 教授 近藤 直司（精神科医）

対象及び参加数：市町、医療機関、福祉施設、就労施設、保健所等 41人

(イ) 2 回目

相談機関の関係者がひきこもりの家族への支援に必要な知識と技術の習得を図った。

日 時：平成 27 年 2 月 3 日（火）10:00～16:00

内 容：講演「ひきこもり支援の基本的な視点と方法」

講義・演習「ひきこもりケースの具体的対応～家族支援、面接技法など～」

講師 白梅学園大学子ども学部子ども学科 教授 長谷川 俊雄

（社会福祉士・精神保健福祉士）

対象及び参加数：市町、医療機関、福祉施設、就労施設、保健所 60 人

カ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

相談機関等の関係者が、適切な支援ができるように情報共有を図った。

日 時：平成 26 年 12 月 6 日（土）9:30～12:00

内 容：事業説明「ひきこもりサポーター養成研修会・派遣事業について」

講演「青年期ひきこもりケースの理解」

講師 大正大学人間学部臨床心理学科 教授 近藤 直司（精神科医）

対象及び参加数：市町、医療機関、福祉施設、就労施設、保健所、家族会等 61 人

キ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもりに悩む当事者や家族に、自らの体験や家族の経験を生かして、ひきこもりに悩む当事者や家族を支援するとともに、市町をはじめとする行政機関や団体等が行うひきこもりに関する相談・支援の活動に協力するために、ひきこもりサポーター（当事者・家族）を養成した。また、養成研修終了後、その活動を希望した者を「ひきこもりサポーター」として登録した。

日 時：平成 27 年 3 月 15 日（日）10:00～16:00

内 容：事業説明「ひきこもりサポーターの養成と活動について」

講義 「ひきこもりに関する基礎知識」

講義 「コミュニケーションを学ぼう」

演習 「自分の経験談を作ろう」

演習 「自分の経験を発表しよう」

対象及び参加数：ひきこもり当事者（経験者）及び家族 15 人（うち登録者 13 人）

(8) 依存症関連問題指導事業

(ア) 特定相談指導

表1 相談指導状況

区分	来所相談			電話相談
	計	男	女	計
アルコール問題	17 (10)	9 (5)	8 (5)	57
薬物問題	5 (3)	4 (2)	1 (1)	16
アルコール・薬物以外	40 (15)	27 (10)	13 (5)	47
計	62 (28)	40 (17)	22 (11)	120

件数は延人数(実人数)

(イ) アルコール関連問題講演会

アルコール等依存症に対する理解を深め、対応を学び適切な支援が行えるように一般県民及び専門職を対象に講演会を開催した。

a 第一部

日時：平成26年10月31日(金)10:00~12:00

内容：講演「依存症のグループプログラムの立ち上げについて」

講師 肥前精神医療センター 医長 武藤 岳夫(精神科医)

対象及び参加数：保健・福祉・司法・医療関係従事者等 21人

b 第二部

日時：平成26年10月31日(金)13:30~16:10

内容：講演「依存症の理解と対応～実践からの動機づけ～」

講師：肥前精神医療センター 医長 武藤 岳夫(精神科医)

対象及び参加数：一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係従事者
46人

(ウ) アルコール・薬物、ギャンブル依存症教室

アルコール・薬物、ギャンブル等の依存と自殺には密接な関係があると指摘されており、平成22年度から依存症教室を開催している。

依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えるように、アルコール・薬物、ギャンブル依存症者、家族及び支援者等に対し依存症教室と、教室終了後には、支援者を対象とした事例検討会を行った。

また、平成26年度には、依存症教室の内容をより実践的に学ぶことを目的として、認知行動療法ワークショップを開催した。

a 依存症教室

日 時：概ね奇数月第4火曜日

回 数：6回

内 容：講義（テーマは下記の通り）
家族同士の話し合い

講 師：新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子（社会福祉士）

対 象：アルコール・薬物、ギャンブル等依存症当事者、家族、支援者

表2 依存症教室の開催状況

（単位：人）

開催日	テーマ	ギャンブル 依存症教室 (10:00～12:00)	アルコール・ 薬物依存症教室 (13:00～15:00)	計
5月27日	依存症って何？	26	45	71
7月22日	なぜ、やめられないのか	25	42	67
9月30日	回復のために何ができるのか	20	32	52
11月25日	どうしたらやめられるのか	24	39	63
1月27日	アディクションの問題から周 囲が受ける影響	16	37	53
3月3日	依存症に伴う困難	25	34	59
計		136	229	365

b 依存症事例検討会

日 時：概ね奇数月第4火曜日

回 数：6回

助言者 新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子（社会福祉士）
こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

対 象：アルコール・薬物、ギャンブル等依存症関連問題に携わる支援者

表3 事例検討会実施状況

回 数	開催日	参加人数
1回	5月27日	15人
2回	7月22日	13人
3回	9月30日	11人
4回	11月25日	11人
5回	1月27日	7人
6回	3月3日	11人
計		68人

c 認知行動療法ワークショップ

日 時：平成 26 年 12 月 15 日（月）13：30～16：30

内 容：認知行動療法によるグループワークショップ

ファシリテーター：新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子
（社会福祉士）

対象及び参加数：アルコール・薬物、ギャンブル等依存症当事者、家族、支援者
33人

(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の DV 防止法の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設しており、平成 26 年度には 322 件の相談があった。

表 1 DV 個別相談件数

区 分		計	面接相談	電話相談
DV に関する相談件数		322 件	163 件 (43)	159 件
うち DV 抑止に関する相談		211 件	121 件 (24)	90 件
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	180 件	111 件 (16)	69 件
	加 害 女 性	0 件	0 件	0 件
	被 害 女 性	26 件	8 件 (6)	18 件
	被 害 男 性	1 件	1 件 (1)	0 件
	加害男性の家族等	1 件	0 件	1 件
	被害女性の家族等	3 件	1 件 (1)	2 件
	そ の 他	0 件	0 件	0 件

() は実件数

(10) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 自殺予防街頭キャンペーン (詳細は P21 参照)

毎年、9月10日から16日までの「自殺予防週間」に、自殺予防の呼びかけやうつ病等に対する正しい知識や相談窓口等の周知について、街頭キャンペーンを実施した。

(イ) 自殺予防に関する普及啓発資料 (詳細は P21 参照)

啓発媒体として、チラシ、ポスター、パンフレット、冊子、啓発グッズ等作成し、県民や関係機関へ配布した。

(ウ) 講演会及びシンポジウム

<1回目>

日時：平成26年10月12日(日)13:00~15:30

場所：パトリア フォーラム七尾多目的ホール

内容：

第一部 基調講演

演題「高齢者のかけがえのない命を守るために～地域で・社会で～」

講師 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力(弁護士)

第二部 シンポジウム

演題「高齢者のかけがえのない命を守るために～今、私たちができること～」

シンポジスト 七尾市4地区の代表者による実践報告

助言者 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力(弁護士)

コーディネーター こころの健康センター 所長 角田 雅彦(精神科医)

参加数：130人

<2回目>

日時：平成27年2月28日(日)12:30~16:30

場所：石川県地場産業振興センターコンベンションホール

内容：

オープニングアクト アカペラ

第一部 講演会

演題「若者の生きづらさを考える」

講師 平野 啓一郎(小説家)

第 部 シンポジウム

テーマ「若者の生きづらさ」

座長 金沢医科大学精神神経科学 教授 川崎 康弘（精神科医）

助言者 平野 啓一郎（小説家）

シンポジスト

富山大学保健管理センター 准教授 西村 優紀美（臨床心理士）

金沢医科大学精神神経科学 講師 北本 福美（臨床心理士）

こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

体験発表者

参加者：250人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

（ア）ハローワークにおける包括相談事業

自殺予防週間（9月10日～9月16日）及び自殺対策強化月間（3月）にちなみハローワークの1会場で、こころの相談や多重債務の相談など多職種に相談できる包括相談会を開催した。

開催日	会 場	出務者（職種）	相談件数
9月8日	ハローワーク金沢	医師、司法書士、保健師、心理職	4
3月9日	ハローワーク金沢	司法書士、保健師、心理職	4

（イ）「こころ、からだ、暮らし、悩みごとなんでも相談会」の開催

講演会の会場において、多職種による相談会を開催した。

開催日	会 場	出務者（職種）	相談件数
10月12日	パトリア フォーラム七尾	医師、精神保健福祉士、保健師、心理職、精神対話士	2
2月28日	石川県地場産業振興センター	弁護士、司法書士、社会保険労務士、精神保健福祉士、保健師、心理職、精神対話士	10

(ウ) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体：石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなる会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、国際チャリティ協会アムリタハート北陸、子ども夢フォーラム、財団法人メンタルケア協会北陸事務所、ひまわりの会、ほっとの会)と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
第1回	平成26年5月22日	自殺予防週間関連講演会の事業計画検討	9団体14人
第2回	平成26年6月25日		8団体13人
第3回	平成26年7月10日		6団体11人
第4回	平成26年8月5日		5団体9人
第5回	平成26年9月17日		8団体13人
第6回	平成26年10月29日	自殺対策強化月間関連講演会の事業計画検討	6団体11人
第7回	平成26年12月10日		6団体10人
第8回	平成27年1月13日		7団体10人

(エ) 自殺対策地域連絡会議への支援

依頼先	内容
南加賀保健福祉センター	日時：平成26年9月3日14:00～16:00 参集者：行政・医療機関・警察・消防・司法・教育関係者等
	日時：平成26年10月15日13:30～16:30 参集者：行政・医療機関・警察・消防・司法・教育関係者等
能登中部保健福祉センター	日時：平成27年2月25日9:30～11:00 対象者：羽咋郡市消防・警察・救急告示医療機関・精神科医療機関・行政等

(オ) 多職種による事例検討会

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを検討した。

参集者：弁護士、司法書士、医療機関職員、行政機関（警察・消防・市町）等

実施日	内 容	人数
7月 1日	高齢者で自殺リスクの高いケース	31人
9月 4日	自殺既遂ケース	23人
11月27日	自殺既遂ケース	21人
1月 8日	高齢者で自殺リスクの高いケース	17人

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパーリーダー養成研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日 時：平成26年8月8日（金）13:30～16:30

講 演：「悩んでいる人への接し方

～メンタルヘルス・ファーストエイドによる支援～」

講 師：岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座 特命教授

大塚 耕太郎（精神科医）

対象及び参加数：県及び市町自殺対策担当者、医療従事者等 38人

b ゲートキーパー出前講座（ ）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

	実施機関	対 象	参加数
県	七尾児童相談所	教職員、養護教諭、児童相談所職員	25人
市	七尾市健康推進課	七尾市民	50人
教育	小松市健康推進課	松陽中学校中学2年生	212人
		中海中学校中学2年生	64人
		国府中学校中学2年生	76人
		松東中学校中学2年生	35人
他	金沢こころの電話	金沢こころの電話相談員	40人
	悲しみ110番	悲しみ110番相談員	12人

「(3)普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

c 職場内ゲートキーパー養成事業

企業のメンタルヘルス担当者等が、心の病気についての理解と対応を学び、職場内ゲートキーパーとして活動するために必要な知識等を普及した。

日 時：平成26年8月21日（木）13:00～15:00

内 容：講演「心の病気の正しい理解、周囲の対応について」

講 師：こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

対象及び参加数：社会福祉法人の人事・労務担当等の職員 80人

(イ) ほっとハート店推進事業

対面での接客において、自殺の危機にある人のサインに気づくための知識と対応について啓発し、ゲートキーパーの役割を担ってもらうために必要な知識等の講習をした。

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

対象	実施日	参加数
石川県鍼灸マッサージ師会・柔道整復師会	10月 5日	200人
石川県薬剤師会	12月14日	80人

「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

(ウ) うつ病家族教室

うつ病の家族が、患者へのよりよい対応ができるように、病気についての知識・理解を深めることを目的とし、平成24年度からうつ病家族教室を開催している。

日 時：平成26年10月2日（木）13:30～15:20

内 容：うつ病の理解と対応及び復職支援

講 師：石川県こころの健康センター所長 角田雅彦（精神科医）

石川県障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 西澤美和

対象及び参加数：23人

個別相談：2人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

自殺未遂者の再企図を防止するために、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を図るとともに、必要に応じて精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けて、研修会や事例検討会等を実施した。

(ア) 救急告示医療機関職員等に対する研修会

日 時：平成26年8月8日（金）19:00～21:00

講 演：「自殺未遂者への支援」

講 師：岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座 特命教授

大塚 耕太郎（精神科医）

対象及び参加数：県内救急告示医療機関職員等 76人

(イ) 自殺未遂者支援における地域支援(技術支援)

講師：こころの健康センター 所長 角田 雅彦(精神科医)

実施機関	内 容	人数
済生会金沢病院	講演：「自殺予防対策について」 対象者：救急告示医療機関職員	60人
南加賀保健福祉センター	講演：「自殺未遂者への支援の重要性について」 対象者：救急告示医療機関、救急隊員、市町等	50人
能登中部保健福祉センター	事例検討会：「自殺未遂者支援のための事例検討会」 対象者：羽咋郡市消防	50人
能登北部保健福祉センター	講演：「救命・救急医療現場におけるこころのケア」 対象者：救急告示医療機関、救急隊員等	6人

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会

家族を自死(自殺)で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：6回

参加数：実7人 延べ23人

(イ) こころの緊急支援事業

石川県こころの緊急支援事業では、県内の学校で重大な事件事故が起こった際、C R T(クライシスレスポンスチーム)を派遣し、子どもたちに「こころのケア」を行う学校を側面から支援するもので、全国では平成15年に山口県でスタートし、現在6県が実施しており、石川県は平成21年9月から体制を整えているが、平成26年度の相談実績はなかった。

(11) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、子どものこころのケア推進事業を平成 20 年度から行っている。

ア 子ども心のケア・相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表 1 電話相談件数と相談者の内訳

年代	件数(延)	相談者内訳		
		父	母	その他(**)
幼児	9	1	6	2
小学生	53	7	38	8
中学生	61	4	50	7
高校生	159	14	107	38
その他(*)	28	1	23	4
総計	310	27	224	59

その他(*)：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他(**)：本人、祖父母、学校等

表 2 電話相談の内容(延)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	家庭内の問題	出産育児	身体上の悩み	摂食・性格・行動・対人関係	依存関係	性・日常生活等不安	病気の不安等	精神障害者への対応	情報提供・その他	計
幼児	3				1	2	2						1	9
小学生	12	18		1	4	2	1	9		3			3	53
中学生	6	33		1	2	2	1	6		7	1	1	1	61
高校生	2	106	1	2	8		3	16	2	7	6	1	5	159
その他	1	3	1	5	5			4		2	4	1	3	28
計	24	160	2	9	20	6	7	35	2	19	11	3	13	310

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

年代	件数(実)	件数(延)	相談者内訳(重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼児	1	1		1		
小学生	3	4		2		2
中学生	15	60	10	48	26	1
高校生	42	262	28	152	84	8
その他(*)	10	107	15	35	42	
総計	71	434	53	238	152	11

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他(**) : 祖父母、学校等

表4 来所相談内容(実件数内訳)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	身体上の悩み	総計
幼児				1		1
小学生	2			1		3
中学生	5	6	1	3		15
高校生	3	26	1	10	2	42
その他(*)		6	1	3		10
計	10	38	3	18	2	71

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表5 来所相談の経路(実件数内訳)

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	総計
幼児	1				1
小学生	1	1	1		3
中学生	5	1	5	4	15
高校生	19	2	10	11	42
その他(*)	4	1		5	10
計	30	5	16	20	71

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介 （病院等）	総計	他機関と連携 （再掲）
幼児	1			1	
小学生	2		1	3	2
中学生	5	7	3	15	3
高校生	14	23	5	42	8
その他(*)	5	3	2	10	3
計	27	33	11	71	16

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

イ 子どもの心の支援事例検討会

目的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、
子どもの心を診る専門医、専門家及び関係者の育成強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

a 未就学児・学童期事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：保健・教育・保育関係者 延61人
- ・助言者：医王病院 大野 一郎（小児科医）
日野 和美（元保育士）
こころの健康センター所長（精神科医）
" 支援課長

b 児童・青年期事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：医療・保健・教育・保育関係者 延100人
- ・助言者：第1・3・4回 ほんだクリニック院長 本田 徹（精神科医）
第2回 谷野呉山病院副院長 榎戸 芙佐子（精神科医）

c 精神科・小児科医師等事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：精神科・小児科医等医師 延 34人
- ・助言者：第1・3・4回 ほんだクリニック院長 本田 徹（精神科医）
第2回 谷野呉山病院副院長 榎戸 芙佐子（精神科医）

ウ 子どもの心の支援者研修会

医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

(ア) 子どもの心の支援者研修会

<1回目>

日時：平成26年8月22日（金）10:00～12:00

内容：講演「思春期の子どもたちの心の問題」

講師：東京都立小児総合医療センター 副院長 田中 哲（児童精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者・一般 45人

<2回目>

日時：平成26年9月21日（土）10:00～12:00

内容：講演「子どもの不安への対応」

講師：埼玉医科大学神経精神科心理室 助教 庄野 伸幸（臨床心理士）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者・一般 56人

(イ) 中央で開催された高度な研修・会議への参加及び派遣

a 第7回子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

日時：平成26年7月23日（木）

会場：東京都

b 第8回子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

日時：平成27年1月16日（金）

会場：東京都

c 三重県 CLM と個別の指導計画を活用した発達支援の実践報告会

日時：平成26年11月15日（土）

会場：三重県

d 第10回日本統合失調症学会

日時：平成27年3月27日(土)～28日(日)

会場：東京都

エ 子どもの心の啓発普及研修会

<1回目>

日時：平成26年8月22日(金)13:30～16:00

内容：講演「思春期の子どもたちの心の問題」

講師：東京都立小児総合医療センター 副院長 田中 哲(精神科医)

対象及び参加数：医療・教育・保健・福祉等関係者・一般 45人

<2回目>

日時：平成26年9月21日(土)13:30～16:00

内容：講演「子どもの不安への対応」

講師：埼玉医科大学神経精神科心理室 助教 庄野 伸幸(臨床心理士)

対象及び参加数：医療・教育・保健・福祉等関係者・一般 56人

<3回目>

日時：平成26年11月30日(日)13:30～16:00

内容：講演「子どもの自傷行為の理解と対応」

講師：国立精神・神経医療研究センター

自殺予防総合対策センター副センター長 松本 俊彦(精神科医)

場所：石川県地場産業振興センター

対象及び参加数：医療・教育・保健・福祉等関係者 116人

オ 普及啓発

平成25年度に『いしかわ子どもの心のケアネットワーク』を改訂した小冊子『子どもの心の診療・相談機関情報ガイド』を活用し、子どもの心の問題に関する診療及び相談機関について周知を図っている。

(12) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：平成 26 年 12 月 8 日（月）13:30～16:30

場 所：石川県こころの健康センター 2 階研修室

参加者：ピアサポーター、当事者、相談支援事業所職員、精神科病院職員、
保健所職員、こころの健康センター職員 45 人

内 容：実践報告

「山梨県におけるピアサポーターの活動紹介」

講師：すみよし生活支援センター 相談支援専門員 望月 義次

「山梨県における地域体制整備コーディネーターの役割」

講師：山梨県中北保健福祉事務所 主任 京嶌 由季

「ピアサポーターとしての活動の実際」

講師：甲府圏域ピアサポーター 1 名

意見交換（グループワーク）

イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図った。

ピアサポーターの登録人数：5 人

ピアサポーターの派遣人数：延べ 13 人（実 4 人）

3 支援課（発達障害支援センター）業務

（１）発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して継続的に支援する「発達支援」、就労に関して継続的に支援する「就労支援」を行っている。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	24	21	86	45	36	212	48	472(126)人
	延件数	72	58	413	241	135	1,305	51	2,275(195)件
発達支援	実人員	77	125	56	12	3	31	0	304人
	延件数	1,140	1,819	590	99	52	404	0	4,104件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	76	76人
	延件数	0	1,261	1,261件

（ ）は内数で県外居住者及び居住先不明者の合計

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	219
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	351
利用できる制度について知りたい	145
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	137
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	151
進路や将来の生活に関する相談をしたい	148
対応困難な状況の改善について相談したい	86
今後の就労について相談したい	149
現在勤めている職場に関する相談をしたい	70
その他	985
合 計	2,441件

相談を受けるたびに相談内容を確認。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	1,217	80	802	176	2,275 件
発達支援	641	3,387	57	19	4,104 件
就労支援	1,002	24	198	37	1,261 件
合 計	2,860	3,491	1,057	232	7,640 件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	95	83	56	234
アスペルガー症候群	38	7	7	52
A D / H D	24	5	4	33
L D	1	1	0	2
そ の 他	38	39	2	79
不明（未診断含む）	276	169	7	452
合 計	472 人	304 人	76 人	852 人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症及び高機能広汎性発達障害を含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	931	2,154	1,022	4,107
保 護 者 ・ 親 族	968	1,882	117	2,967
保 育 所 ・ 幼 稚 園	3	15	0	18
小 学 校	15	8	0	23
中 学 校	10	0	0	10
高 等 学 校	5	1	0	6
特 別 支 援 学 校	1	0	0	1
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	14	1	1	16
市 町 教 育 委 員 会	13	0	0	13
市 町 保 健 セ ン タ ー	0	2	0	2
保 健 所	3	0	0	3
児 童 相 談 所	4	0	0	4
行 政	15	0	6	21
医 療 機 関	170	18	34	222
企 業	15	0	0	15
公 共 職 業 安 定 所	27	0	9	36
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	32	0	42	74
地 域 若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	8	1	0	9
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	2	0	9	11
相 談 支 援 事 業 所	10	6	12	28
就 労 移 行 支 援 事 業 所	3	1	2	6
就 労 継 続 支 援 事 業 所	3	8	6	17
そ の 他	23	7	1	31
合 計	2,275 件	4,104 件	1,261 件	7,640 件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	160	144	304人
就労支援（実人員）	35	41	76人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	16	28	49	211	304人
就労支援（実人員）	4	2	5	65	76人

(2) 精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談事業を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

表1 相談事業結果

実施回数		12回
来所実人員		22人
来所延人員		22人
年齢別	0 ~ 3 歳	0
	4 ~ 6 歳	0
	小学生	2
	中学生	3
	16 ~ 18 歳	1
	19 歳 ~	16
	合計	22
診察結果	障害なし	0
	経過観察(判定保留)	1
	自閉症	18
	アスペルガー症候群	0
	A D / H D	1
	知的障害	1
	その他	1
合計	22	
支援内容	センターで継続支援	21
	医療機関紹介	1
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	0

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

区分	相談支援	発達支援	就労支援	計
H21	1,478 (343)	2,198 (93)	476 (22)	4,152 (458)
H22	1,664 (358)	2,036 (92)	635 (31)	4,335 (481)
H23	1,477 (357)	5,135 (329)	378 (26)	6,990 (712)
H24	1,558 (397)	4,957 (334)	477 (39)	6,992 (770)
H25	1,300 (395)	4,531 (298)	644 (52)	6,475 (745)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、毎週火曜午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
47 回	30 人	659 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、第 3 金曜午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	22 人	107 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、第 2 木曜午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、第 3 水曜午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	11 回	10 組	35 人	ピアカウンセリング、話し合い等
学齢期	3 回	5 組	12 人	ピアカウンセリング、話し合い等

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害全般	療育	医療	教育	保健
回数	4	8	0	0	0

内容	福祉	就労	自立支援	その他
回数	0	3	11	2

合計
28 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児(者)への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	0	0
	中 学 校	3	5
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	1	1
	市 町 教 育 委 員 会	1	1
	市 教 育 研 究 所	1	17
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	1	1
	相 談 支 援 事 業 所	3	5
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	1	1
	若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	1	1
	市 町	1	4
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	1	1
	医 療 機 関	1	1
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	3	4
	合 計	18カ所	42件
支援内容	障 害 特 性 の 理 解		2
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		29
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		7
	研 修 会		1
	そ の 他		3
	合 計		42件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児(者)に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区 分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	0	19	8	2	33	62人
延件数	0	22	8	3	55	88件

表2 障害種別

区 分	実支援人員
自 閉 症	31
アスペルガー症候群	3
A D / H D	6
L D	0
そ の 他	5
不明(未診断含む)	17
合 計	62人

自閉症：自閉症及び広汎性発達障害を含む

アスペルガー症候群：高機能自閉症、高機能広汎性発達障害を含む

表3 会議テーマ

内 容	開催回数
家 庭 生 活	3
健康・医療	0
教 育	33
保 育	0
療育支援	0
進路相談	0
自立支援	3
就労支援	49
そ の 他	0
合 計	88回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	平成26年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（中級研修）		
月日 場所	平成26年8月26日 こころの健康センター	平成26年9月8日 生涯学習センター能登分室	平成26年9月25日 南加賀保健福祉センター
内容	研修 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容～本人と家族を支える～」		
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 40人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 30人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 31人
月日 場所	平成26年10月6日 生涯学習センター能登分室	平成26年10月27日 こころの健康センター	平成26年10月30日 南加賀保健福祉センター
内容	研修 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）		
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 26人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 37人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 34人
月日 場所	平成26年11月21日 石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室		
内容	研修 講演「就労支援機関での取り組み」 講演「発達障害者のもつ人の就労と就労支援」		
講師	NPO法人クロスジョブ金沢リエゾン 所長 中山 肇 氏 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 事業企画局研究部長 志賀 利一 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 99人		

研修名	平成26年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）
月日 場所	平成26年7月3日 石川県庁行政庁舎1104会議室
内容	講義「発達障害者支援法について」 講義「相談を受けるとは？」 講義「発達障害とは」

講師	石川県障害保健福祉課 課長補佐兼医療支援グループリーダー 石原 雅子 氏 発達障害者支援センターパース 統括課長 川畑 治代 氏 やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 25人
月日 場所	平成26年8月5日 こころの健康センター 研修室
内容	講義「就労関係支援機関の紹介および当事者の体験発表」
講師	石川障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 山本 健夫 氏、大平 将仁 氏 当事者1名
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	平成26年9月1日 こころの健康センター 研修室
内容	講義 「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義 「ライフステージ別の現状～思春期・青年期～」
講師	日本ポーター協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 25人
月日 場所	平成26年7月～9月 計6回 石川県発達障害支援センター
内容	実習 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計23人
月日 場所	平成26年9月～平成27年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計21人
月日 場所	平成26年11月13日 こころの健康センター 研修室
内容	実習 保護者の声を聞く ・講演
講師	当センターが開催している親の集いに参加している保護者3名

参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	平成26年12月～平成27年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習 ロールプレイ ・インテーク場面を想定し、実際の相談場面を疑似体験する
講師	発達障害者支援センターパス 所長 瀬戸 美津子 氏、統括課長 川畑 治代 氏 石川県障害保健福祉課 医療支援グループ 専門員 岩尾 貴 氏 石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計21人

研修名	平成26年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修）
月日 場所	平成26年10月7日 白山市福祉ふれあいセンター 中会議室
内容	講義「発達障害者支援における連携と支援体制の構築について～白山市の取り組みから～」 意見交換会
講師	白山市障害福祉課 課長補佐 門倉 美樹子 氏 白山市発達相談センター 主査 横山 三千代 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）終了者 16人
月日 場所	平成26年11月～12月 計3回 石川療育センター、金沢産業技術専門校ワークサポート科、石川障害者職業センター NPO法人クロスジョブ金沢リエゾン
内容	発達障害児者が利用できる社会資源施設の見学
講師	各施設職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）終了者 計11人
月日 場所	平成27年1月～平成27年2月 計3回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	発達障害者支援センターパス 所長 瀬戸 美津子 氏、統括課長 川畑 治代 氏 石川県障害保健福祉課 医療支援グループ 専門員 岩尾 貴 氏 石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）終了者 計10人

研修名	平成26年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	平成26年7月24日 金沢市アートホール
内容	講演「発達障害と二次障害」
講師	信州大学医学部附属病院子どもの心の診療部 診療教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員、発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）受講者 210人

研修名	平成26年度アセスメントツール研修
月日 場所	平成26年10月13日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「WAIS - について」
講師	筑波大学人間系教授 心理学博士 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員、発達障害者等相談支援従事者育成研修（基礎研修・実務研修）受講者 127人

研修名	平成26年度石川県発達障害者支援センター事例検討会
月日 場所	平成26年12月6日 こころの健康センター 研修室
内容	事例検討会
助言者	大正大学人間学部臨床心理学科教授 精神科医 近藤 直司 氏
参加者	医療、福祉、相談機関等の職員 33人

研修名	平成26年度石川県発達障害者支援センター事例検討会
月日 場所	平成27年3月21日 こころの健康センター 研修室
内容	事例検討会
助言者	大阪医科大学付属病院 小児科医 金 泰子 氏
参加者	医療、保健、福祉、相談機関等の職員 34人

研修名	平成26年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月日 場所	平成27年3月21日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害のある人のこころ」
講師	大阪医科大学附属病院 小児科医 金 泰子 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般 192人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	対象及び人数
平成26年4月10日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 8人
平成26年5月19日	こころの 健康センター	精神保健福祉担当者初任者研修会	市町、保健福祉センター 職員等 48人
平成26年4月～ 平成27年2月	白山市福祉ふれ あいセンター	白山市就労支援研修会（計9回）	白山市職員 計 54人
平成26年6月4日	こころの 健康センター	金沢工業大学大学院生講義	大学院生 8人
平成26年6月7日	能登空港	いしかわ子どもの心のケア推進事業 事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 20人
平成26年6月13日	こころの 健康センター	金沢大学保健学科講義	大学生 81人
平成26年7月28日	東和中学校	東和中学校校内研修会	教職員 25人
平成26年10月4日	能美市根上 学習センター	はまかぜ講演会	施設職員 23人
平成26年10月～11月	こころの 健康センター	保育専門学園専攻科インターンシッ プ講義並びに実習（計5回）	学生 24人
平成26年10月28日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科勉強会	学生・教員 5人
平成26年10月30日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会 企画会議	居宅介護従事者 12人
平成26年12月8日	駅西合同庁舎	学卒ジョブサポーター研修	ジョブサポーター 27人
平成26年12月25日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会	養護教諭 11人
平成27年1月16日	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会 企画会議	居宅介護従事者 12人

平成27年1月～2月	石川県庁	石川県行動援護従事者養成研修会 (計3回)	居宅介護従事者 計210人
平成27年1月17日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 14人
平成27年1月30日	輪島市ふれあい 健康センター	輪島地区更生保護女性会および子育て ネット研修会	保護者、一般 50人
平成27年2月3日	金沢学院東高校	金沢学院東高校教職員研修会	教職員 50人
平成27年2月7日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 8人
平成27年2月27日	上戸小学校	校内研修	教職員 13人

資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1) 内容別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健 康づくり	摂食障害	その他
南加賀保 健福祉セ ンター	電話	2,167	117	352	62	64	3	118	328	2	1,121
	来所(実129)	334	36	79	12	1	1	64	39	0	102
	訪問(実64)	226	14	63	5	5	0	7	21	0	111
石川中央 保健福祉 センター	電話	1,571	99	925	120	29	4	35	265	6	88
	来所(実64)	93	6	41	2	1	1	4	35	1	2
	訪問(実45)	123	8	70	17	2	0	3	14	1	8
能登中部 保健福祉 センター	電話	740	22	325	29	0	0	36	8	2	318
	来所(実84)	127	7	66	2	0	0	24	4	0	24
	訪問(実39)	76	3	44	2	0	0	8	1	0	18
能登北部 保健福祉 センター	電話	936	50	737	46	0	0	81	17	3	2
	来所(実78)	163	9	97	12	0	1	29	13	1	1
	訪問(実32)	55	6	35	3	0	0	4	1	0	6
泉野福 祉健康 セン ター	電話	947	16	643	7	0	1	13	232	0	35
	来所(実88)	143	1	70	3	0	0	3	64	0	2
	訪問(実40)	149	3	125	0	0	0	0	11	0	10
元町福 祉健康 セン ター	電話	1,026	23	532	16	35	0	1	306	1	112
	来所(実57)	91	3	57	0	1	0	0	30	0	0
	訪問(実49)	132	0	55	5	5	0	0	48	1	18
駅西福 祉健康 セン ター	電話	1,191	38	820	72	27	2	16	215	1	0
	来所(実88)	130	2	52	12	0	0	2	60	2	0
	訪問(実52)	121	6	91	5	0	0	0	19	0	0
保健所 計	電話	8,578	365	4,334	352	155	10	300	1,371	15	1,676
	来所(実588)	1,081	64	462	43	3	3	126	245	4	131
	訪問(実321)	882	40	483	37	12	0	22	115	2	171
こころ の健康 セン ター	電話	6,038	58	3,343	62	16	24	415	1,062	9	1,049
	来所(実427)	2,162	1	179	17	5	22	805	728	0	405
	訪問(実26)	55	0	6	0	0	0	24	10	0	15

(2)年齢区分別相談件数

区分		合計	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明
南加賀保健福祉センター	電話 延	2,167	0	87	426	501	757	156	88	110	42
	来所 実	129	0	11	15	28	30	8	11	21	5
	延	334	0	30	55	74	100	20	15	33	7
	訪問 実	64	0	2	13	20	13	7	3	6	0
	延	226	0	6	45	71	60	21	9	14	0
石川中央保健福祉センター	電話 延	1,571	0	75	255	290	216	441	129	122	43
	来所 実	64	0	6	11	16	17	6	3	4	1
	延	93	0	8	16	17	23	6	16	6	1
	訪問 実	45	0	1	7	10	9	8	6	4	0
	延	123	0	3	13	25	17	36	22	7	0
能登中部保健福祉センター	電話 延	740	0	47	64	109	94	302	76	38	10
	来所 実	84	0	17	17	23	10	8	3	5	1
	延	127	0	22	27	36	11	17	5	8	1
	訪問 実	39	0	2	3	6	11	6	8	3	0
	延	76	0	8	3	15	30	8	9	3	0
能登北部保健福祉センター	電話 延	936	1	73	43	86	211	110	343	56	13
	来所 実	78	1	10	9	15	11	9	12	10	1
	延	163	2	25	28	27	33	17	15	15	1
	訪問 実	32	0	3	3	5	4	7	4	5	1
	延	55	0	7	4	15	5	11	5	7	1
泉野福祉健康センター	電話 延	947	0	27	81	285	273	73	135	57	16
	来所 実	88	0	5	17	25	15	10	9	6	1
	延	143	0	7	29	42	28	13	16	7	1
	訪問 実	40	0	1	1	15	6	3	8	6	0
	延	149	0	1	4	71	26	6	28	13	0
元町福祉健康センター	電話 延	1,026	0	18	86	153	478	135	107	49	0
	来所 実	57	0	1	5	12	23	4	4	8	0
	延	91	0	1	7	20	40	7	6	10	0
	訪問 実	49	0	2	7	13	12	9	5	1	0
	延	132	0	4	13	34	42	28	9	2	0
駅西福祉健康センター	電話 延	1,191	1	38	89	271	263	296	148	53	32
	来所 実	88	1	2	8	26	18	12	14	7	0
	延	130	1	2	17	35	32	16	20	7	0
	訪問 実	52	0	0	3	11	13	10	8	7	0
	延	121	0	0	9	27	33	29	14	9	0
	電話 延	8,578	2	365	1,044	1,695	2,292	1,513	1,026	485	156

保健所計	来所 実	588	2	52	82	145	124	57	56	61	9
	延	1,081	3	95	179	251	267	96	93	86	11
	訪問 実	321	0	11	37	80	68	50	42	32	1
	延	882	0	29	91	258	213	139	96	55	1
こころの健康センター	電話 延	6,038	27	338	695	876	1,812	1,288	265	58	679
	来所 実	427	4	76	125	107	70	32	6	5	2
	延	2,162	10	474	775	555	223	104	12	6	3
	訪問 実	26	0	7	10	8	1	0	0	0	0
	延	55	0	23	17	13	2	0	0	0	0

(3) 診断区別相談件数

区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実	129	4	7	20	25	6	1	1	4	7	0	3	0	1	50
	延	334	19	15	82	84	10	1	2	5	30	0	4	0	1	81
	訪問 実	64	3	4	15	11	4	2	2	4	6	0	2	0	1	10
	延	226	10	12	82	33	7	6	6	9	27	0	7	0	1	26
石川中央保健福祉センター	来所 実	64	3	0	13	11	7	1	1	0	1	1	0	12	10	4
	延	93	3	0	30	14	9	1	1	0	1	1	0	13	16	4
	訪問 実	45	4	3	18	6	4	0	1	1	1	1	0	3	0	3
	延	123	7	18	57	15	8	0	3	2	2	3	0	5	0	3
能登中部保健福祉センター	来所 実	84	1	3	12	16	3	0	0	1	1	0	2	0	0	45
	延	127	3	3	29	20	3	0	0	1	1	0	3	0	0	64
	訪問 実	39	3	3	15	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9
	延	76	3	3	31	14	0	0	0	1	3	0	0	0	0	21
能登北部保健福祉センター	来所 実	78	2	9	15	10	9	0	0	4	2	1	0	5	0	21
	延	163	6	10	52	19	31	0	0	5	7	1	0	5	0	27
	訪問 実	32	4	2	8	7	3	0	0	2	1	1	0	0	0	4
	延	55	6	2	16	13	5	0	0	3	1	5	0	0	0	4
泉野福祉健康センター	来所 実	88	3	1	16	10	13	0	5	0	3	1	0	15	1	20
	延	143	6	3	29	14	17	0	7	0	8	3	0	26	1	29
	訪問 実	40	5	0	21	3	2	0	1	0	0	1	1	1	1	4
	延	149	16	0	94	11	3	0	1	0	0	1	9	3	2	9
元町福祉健康センター	来所 実	57	1	1	11	23	5	0	0	1	2	1	0	0	0	12
	延	91	1	1	18	33	11	0	0	2	8	1	0	0	0	16
	訪問 実	49	0	2	15	13	5	0	0	2	1	0	0	1	0	10
	延	132	0	8	32	33	11	0	0	4	8	0	0	1	0	35
駅西福祉健康センター	来所 実	88	4	7	9	17	7	1	1	3	1	1	2	0	0	35
	延	130	4	10	14	24	7	1	8	9	8	1	2	0	0	42
	訪問 実	52	3	7	11	8	2	1	2	5	2	0	1	0	0	10
	延	121	5	8	43	20	6	10	5	6	2	0	1	0	0	15
保健所計	来所 実	588	18	28	96	112	50	3	8	13	17	5	7	32	12	187
	延	1,081	42	42	254	208	88	3	18	22	63	7	9	44	18	263
	訪問 実	321	22	21	103	55	20	3	6	15	12	3	4	5	2	50
	延	882	47	51	355	139	40	16	15	25	43	9	17	9	3	113
こころの健康センター	来所 実	427	1	4	19	65	27	3	13	7	29	7	1	8	135	108
	延	2,162	1	8	109	308	222	7	17	95	189	71	2	15	699	419
	訪問 実	26	0	0	2	4	2	0	0	0	6	2	0	0	6	4
	延	55	0	0	6	7	17	0	0	0	7	3	0	0	9	6

診断名はICD10に準ずる
 こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	社会的ひきこもり			
			合計	18歳以下	19～29歳	30歳以上
南加賀保健福祉センター	来所 実	9	10	2	4	4
	延	11	45	8	31	6
石川中央保健福祉センター	来所 実	1	12	3	4	5
	延	2	26	4	8	14
能登中部保健福祉センター	来所 実	2	27	11	9	7
	延	4	43	13	15	15
能登北部保健福祉センター	来所 実	5	12	5	4	3
	延	11	25	13	6	6
泉野福祉健康センター	来所 実	2	8	1	4	3
	延	2	24	1	13	10
元町福祉健康センター	来所 実	2	4	0	0	4
	延	2	4	0	0	4
駅西福祉健康センター	来所 実	0	1	1	0	0
	延	0	1	1	0	0
保健所計	来所 実	21	74	23	25	26
	延	32	168	40	73	55
こころの健康センター	来所 実	28	114	16	64	34
	延	106	1,107	189	583	335

2 普及啓発活動

保健所	区分 内容	講演会				その他			
		回数	人数	主なテーマ	対象	回数	人数		対象
南加賀保健福祉センター		2	91	自殺防止対策地域連絡会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、福祉関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	2	53	ゲートキーパー講習	一般企業衛生管理者、中間管理者
		3	750			3	750	自殺予防街頭キャンペーン(小松・加賀・能美)	一般住民
		1	48	平成26年度自殺防止対策研修会	国関係機関、医療機関、民生委員、教育関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町				
		1	33	青少年の性に関する研修会	教育、保育、児童相談機関				
		1	19	自殺未遂者支援研修会	管内救急告示医療機関、消防署救急隊員等				
石川中央保健福祉センター		1				1		FM-N1	一般住民
		5				5		管内広報「こころの健康相談」	一般住民
		5				5		管内広報「ひきこもり家族教室」	一般住民
		5				5		管内広報「うつ病家族教室」	一般住民
		3	369			3	369	自殺予防啓発普及キャンペーン	一般住民
		4	6			4	6	ハローワークにおける総合相談	一般住民
		12	7073			12	7073	自殺予防キャンペーングッズ作り	一般住民
5	1200			5	1200	リーフレット・パンフレット作成	一般住民		
能登中部保健福祉センター		8	214	みんながゲートキーパー出前講座	市町職員、民生委員、健康づくり推進委員、母子保健推進員、警察署員、海上保安部職員、理容組合員、事業所管理者			自殺予防週間および自殺対策強化月間における自殺予防の普及啓発(街頭キャンペーン3か所、ラジオ・ホームページでの広報、ポスター・のぼり旗掲示、チラシ・自殺予防啓発グッズ配布)	一般住民
		4	16			4	16	ハローワークで包括相談会(相談者5名、自殺予防啓発グッズ配布)	ハローワーク来所者
能登北部保健福祉センター		1	26	思春期青年期こころの健康づくり事業講演会	中・高等学校職員、保健福祉医療関係者、相談支援事業所	3	90	ゲートキーパー研修、自殺予防啓発パンフレットやグッズの配布	食品衛生責任者 特定給食施設等調理担当者
		1	27	管内自殺対策推進連絡会議	医療機関、警察、労働基準監督所、公共職業安定所、薬剤師会、広域圏事務組合、生活保護担当、社会福祉協議会	4	1121	グッズの配布	食品衛生協会職員 一般住民
		1	20	支援が必要な人を知る「精神障害者」を知る	地域福祉活動に関心のある一般住民	1	100		
		1	6	アルコール依存症の基礎的理解と対応について	保健福祉関係の支援者				
泉野福祉健康センター		1	37	メンタルヘルスボランティア合同学習会 講師:精神科医「こころの病に寄り添う」	活動ボランティアの方々	1	22	こころの健康づくり 講師:保健師	家族会員 学生
		1	73	地区別うつ予防研修会 講師:精神科医「うつ病の正しい理解と対応」	一般市民	1	82		ボラ大受講生
		1	73	地域ゲートキーパー研修会 講師:保健師	一般市民	1	26		高齢者学級
		1	73	地域ゲートキーパー研修会 講師:保健師	一般市民	1	80		女性学級
		1	63	自殺予防研修会 講師:精神科医「心のサインに気づいたら～寄り添い支えるために～」	一般市民	1	40		子育て中の保護者
		1	14	こころの健康づくり講演会 鈴木大拙館と共催 講師:保健師、学芸員	一般市民	2	52		職員
		1	13	相談窓口担当者連絡会・研修会 講師:産業カウンセラー	一般市民	2	51		
元町福祉健康センター		1	47	地区別うつ予防研修会 講師:精神科医「うつ病の基本的知識と関わり方」	千坂地区住民	1	66	こころの健康づくり 講師:保健師	職員(環境部門)
		1	47	地域ゲートキーパー研修会 講師:保健師	千坂地区住民	1	15	こころの健康づくり 講師:保健師	浅野地区住民
		1	84	市民公開講座「統合失調症」 講師:精神科医	一般市民	1		自殺予防デー統一街頭キャンペーン 金沢版ゲートキーパー手帳増刷(1000部)・配布(128)	
駅西福祉健康センター		1	124	講演「双極性障害の最新情報」 講師:金沢医科大学病院 川崎康弘精神科医	一般市民	1	69	「メンタルヘルスこころの健康を守る」 講師:保健師	職員
		1	23	講演「若者のうつ病～治療と対応～」 講師:野々市こころのクリニック 藤木暁精神科医	一般市民				
		1	23	ゲートキーパー研修会「あなたもゲートキーパーになりませんか？」 講師:保健師	一般市民				

3 関係機関・団体との連携

保健所	区分 内容	関係機関				関係団体			
		回数	出席人数	内容	対象	回数	出席人数	内容	対象
南加賀保健福祉センター		4	18	精神保健福祉担当者サロン会	各市町	1	1	活動支援(断酒会報持参、アルコール依存症家族教室)	断酒会
		1	3	精神障害者地域生活支援事業連絡会	各市町				
		13	147	精神保健福祉事例検討会	小松市	4	61	小松・能美メンタルヘルスボランティア友の会役員会、学習会等	メンタルヘルスボランティア
		12	186	母子支援事例検討会	小松市				
		2	12	小松市虐待防止等防止協議会(DV対策部会)	小松市				
		2	35	小松市虐待防止協議会(いのちと心の部会)	小松市				
		2	21	精神保健福祉事例検討会	加賀市				
		12	187	母子支援事例検討会	加賀市				
		3	19	加賀市自立支援協議会ワーキング	加賀市				
		2	25	精神保健福祉事例検討会	能美市				
		12	122	母子支援事例検討会	能美市				
		1	16	能美市自殺防止対策担当者連絡会	能美市				
		2	24	能美市自殺未遂者等支援連絡会	能美市				
		11	28	母子支援事例検討会	川北町				
		1	12	相談業務相互支援ネットワーク連絡会	警察				
		1	13	障害者雇用連絡会議	公共職業安定所				
		6	6	医療観察法関係ケア会議	保護観察所				
		2	2	精神保健福祉検討会	相談支援事業所				
		1	13	精神障害者地域生活支援事業連絡会	相談支援事業所				
		1	2	精神保健福祉事例検討会	地域包括支援センター				
		4	11	精神保健福祉事例検討会	病院				
		1	6	精神障害者地域生活支援事業連絡会	病院				
		2	4	精神保健福祉事例検討会	訪問看護ステーション				
	1	1	精神保健福祉事例検討会	ヘルプステーション					
石川中央保健福祉センター		2	106	白山市障害者等自立支援協議会 全体会	管内保健・医療・福祉・行政機関・地域関係者	12	59	月例役員会・ちよに会総会	精神障害者家族会
		1	46	白山市障害者等自立支援協議会 定例支援会議	管内保健・医療・福祉・行政機関・地域関係者	2	41	全国精神保健福祉家族大会委員会	精神障害者家族会
		3	30	白山市障害者等自立支援協議会 メンタルヘルス支援検討部会					
		4	36	白山市障害者等自立支援協議会 すまいのあり方検討部会					
		6	86	白山市こども支援検討部会					
		3	49	白山市障害福祉計画策定委員会					
		2	35	野々市市虐待防止等協議会障害者虐待防止部会					
		1	22	かほく市自立支援協議会					
		3	51	かほく市障害者福祉計画等策定委員会					
		1	13	内灘町自立支援協議会					
		1	88	自立支援協議会障がいのある人の生活を考える会					
		6	51	ケア会議(県関連主催)					
		8	67	ケア会議(市町)					
		4	30	ケア会議(事業所主催)					
		4	46	ケア会議(保護観察所主催)					
		4	35	事例検討会(市町)					
		1	18	自殺対策及び精神保健福祉担当者連絡会					
		1	17	アルコール依存症支援者研修会					
		1	35	アルコール関連問題地域連絡会	病院				
		12	95	ケア会議(病院主催)	病院				

保健所	区分 内容	関係機関		関係団体					
		回数	出席人数	回数	出席人数				
能登中部保健福祉センター		8	108	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	七尾市・中能登町	2	16	みそぎ会(総会、定例会)	精神障害者家族会 メンタルヘルスボランティア
		8	71	羽咋郡市障害者自立支援協議会	羽咋郡・市	2	22	心明会(総会、定例会)	
		5	43	医療観察対象者のケア会議	保護観察所、関係医療機関等	5	50	圏域家族会交流事業	
		3	49	自殺対策連絡会・委員会	七尾市	4	95	花の会(総会、定例会)、県メンボラ連絡協議会	
		1	1	精神相談による助言	七尾市				
		3	7	同行訪問	七尾市				
		1	2	同行訪問	中能登町				
		14	32	同行訪問	志賀町				
		2	6	同行訪問	相談支援事業所				
		3	6	同行訪問	訪問看護ステーション				
		1	31	不登校・ひきこもりに関するネットワーク会議 地域や教育現場が連携の強化を図り、在学中から学校卒業後の継続した支援が出来るようネットワークの構築を図る。	市町教委・各高校・適応指導教室・教育センター・教育事務所・特別支援学校・児童相談所・こころの健康センター・発達障害支援センター・市町精神担当、保健所				
		1	27	地域生活支援事業地域連携会議 精神科病院と地域の保健福祉関係機関、相談支援事業所等の職員が情報交換を行い、関係機関相互の連携を深め、社会復帰への促進を図る。	精神科病院、保健福祉関係機関、地域事業所、看護施設、保護観察所、県障害保健福祉課、保健所				
		1	19	羽咋郡市自殺未遂者支援連絡会 救急医療と精神科医療の連携強化、地域生活支援の体制作り、再発防止を目的とする。	消防、警察、救急告示医療機関、精神科病院、市町、こころの健康センター、保健所				
		1	53	自殺未遂者支援体制事業研修 救急隊員の自殺未遂者への対応について4事例を事例検討した。	羽咋郡市広域圏事務組合消防署員				
		15	30	教諭と面接(生徒支援について話し合い)	学校				
	11	114	事例検討会	公立能登総合病院					
	5	41	事例検討会	七尾松原病院					
	6	41	事例検討会	高松病院					
	2	19	事例検討会	北陸病院					
	2	6	同行訪問	警察					
能登北部保健福祉センター		1	27	自殺対策推進連携会議	労働基準監督所、公共職業安定所、薬剤師会、広域圏事務組合、生活保護担当、社会福祉協議会	11	73	精神障害者家族会(輪水会及びむつみ会)の総会、定例会、打ち合わせ等	精神障害者家族会
		1	1	救命救急医療におけるこころのケアに関する研修会	救急告知医療機関及び精神科外来を持つ医療機関スタッフ	1	10	精神障害者当事者の会(むつみクラブ支援)	精神障害者当事者の会支援
		1	5		奥能登広域圏事務組合消防本部職員	12	57	断酒会及び酒害相談	断酒会
		1	22	思春期青年期こころの健康づくりネットワーク会議	医療機関、相談支援事業所、教育機関	3	140	ゲートキーパー研修	特定給食施設等調理員 食品衛生管理者研修
		1	14	地域生活支援事業地域連絡会	精神科医療機関、管内障害担当者、相談支援事業所、訪問看護ステーション				
		1	30	被害者支援地域ネットワーク 輪島署	警察				
		9	59	ケア会議	保健医療福祉等の関係者				
		14	90	支援者会議					
		2	19	自立支援協議会穴水町連絡会					
		1	13	自立支援協議会能登町連絡会					
		9	120	自立支援協議会就労部会					
		1	20	能登地区障害者雇用連絡会					
		6	56	他機関との事例検討会					
	2	29	障害福祉サービス事業所の総会の参加	障害福祉サービス事業所					
泉野福祉健康センター		34	282	ケース会議	病院関係者等	2	50	泉の会家族会、金沢市連合家族会	精神障害者家族会
		1	22	事例検討会		4	56	みんなネット石川大会支援等	
						22	192	ボランティアグループへの活動支援	メンタルヘルスボランティアグループ
元町福祉健康センター		4	39	ケース会議	病院関係者、生活支援課、包括支援センター等	1	8	鳴和の里すぎな家族会例会	精神障害者家族会
		1	18	事例検討会		2	20	みんなネット石川大会支援等	
		1	4	「鳴和の里」	障害福祉サービス事業所				
駅西福祉健康センター		1	20	事例検討会	病院関係者等	3	31	家族会総会・定例会への出席を通じ正しい知識の普及と家族の健康管理支援	精神障害者家族会
		7	35	一般就労が困難等の障害者が通う地域活動支援センター通所者・指導員の相談及び助言 総会等への出席を通じ支援	地域活動支援センター				

4 家族教室及びメンタルヘルス講座

(1) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	1	14	14	うつ病家族教室
	2	32	37	ひきこもり家族教室
	1	12	12	アルコール依存症家族教室
石川中央保健福祉センター	2	18	20	うつ病家族教室
	11	32	30	ひきこもり家族教室(学習会、座談会、個別相談など)
能登中部保健福祉センター	1	1	12	うつ病家族教室
	4	24	31	ひきこもり家族教室(こころの健康センター医師と精神保健福祉士、星稜大学教授による講義、交流会)
	1	1	9	アルコール依存症家族教室
能登北部保健福祉センター	5	12	22	ひきこもり家族教室
泉野福祉健康センター	0	0	0	
元町福祉健康センター	0	0	0	
駅西福祉健康センター	0	0	0	

(2) メンタルヘルス講座

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	0	0	0	
石川中央保健福祉センター	1	17	17	職場内ゲートキーパー養成事業
	1	17	17	ゲートキーパー養成
	2	195	195	健やかファミリーライフ事業にてココロの健康づくりについて
能登中部保健福祉センター	0	0	0	
能登北部保健福祉センター	0	0	0	
泉野福祉健康センター	1	26	26	金沢ボランティア大学校と連携 基礎講座:福祉健康コースの中で習得 「メンタルヘルスボランティア」の講義
	10	12	40	実践講座:福祉健康コース終了生に案内 関係施設見学など
元町福祉健康センター	1	29	29	ボランティア大学校と連携 基礎講座:福祉健康コースの中で習得 「精神保健福祉の現状」の講義
駅西福祉健康センター	0	0	0	

5 集団指導活動(精神障害者社会復帰相談指導事業)

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	0	0	0	
石川中央保健福祉センター	0	0	0	
能登中部保健福祉センター	0	0	0	
能登北部保健福祉センター	0	0	0	
泉野福祉健康センター	48	6	134	ひきこもりサロン 開設:毎週火曜日 13:30 ~ 16:00 対象:社会的ひきこもり 概ね18 ~ 40歳未満の本人および家族
元町福祉健康センター	0	0	0	
駅西福祉健康センター	0	0	0	

6 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ(VHS方式)・DVD含む)

(平成27年3月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご(1)～(5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついてる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか!	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するかの工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの 支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 その理解と支援	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府 講師：武蔵野大学人間科学部 教授 藤村和美
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過大な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。
	2213	開く・かける-つなぐ～精神保健ボランティア～いっしょにいこうよ～	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
こころの健康	2214	開く-かける-つなく ~精神保健ボランティアもっとちかくに~	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。
	2216	小さなほほえみのために ~乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る~	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217 1	企業戦士のメンタルヘルス 五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217 2	企業戦士のメンタルヘルス 入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217 3	企業戦士のメンタルヘルス 燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217 4	企業戦士のメンタルヘルス 帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217 5	企業戦士のメンタルヘルス スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害 職場の第一人者 妻として充実した家庭 母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く ~メンタルヘルス対策を進めよう！~	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティックバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート ~女のスペース・駆け込みシェルターの現場から~	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティックの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもり心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性 一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性 一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
	2235	統合失調症の人の回復力を高める 回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について 基本的な講義

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2236	統合失調症の人の回復力を高める ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める 家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008 年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30 分	一般	DVD	うつ病の人の 94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人との向き合い方について～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導 No.1	23	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導 No.2	25	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2249	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 1 巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 2 巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の 17 年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 3 巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
	2252	平成 19 年度 いしかわ夢広場 3		児童	DVD	平成 19 年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を 6 編収録。
	2253	2012 年 世界精神保健デー うつ病：世界的危機		一般	DVD	
	2254	スポーツ祭東京 2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVD かけがえのない命をまもるために あなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。
	2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。
	老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ
2302		ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
2303		痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人（一人暮らし）に対する訪問看護の仕方について。
2304 ～ 2305		痴呆老人の介護（1）（2）	各 20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴（症状）とそこのかかわりについて解説。
2306		痴呆性老人の在宅介護！ ～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
老人 精神 保健	2307	痴呆性老人の在宅介護！ ～ボケのお年寄りの正しい理解 のために～	25	一般	ビデオ	千葉県にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、 昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年 寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！ ～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共 に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！ ～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者 談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。 どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面 での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90分	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型 老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方 について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
	2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD	
精 神 保 健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差 別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理 念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニ ューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描 いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気であ る。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発 展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課 税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる ～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
	2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
精 神 保 健	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30 年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人への援助の実際	23分	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 前編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療 ～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ！！ 共生の時代へ第4巻ピアカウセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の様態を紹介。
	2447	ピアカウセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。
	2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について
	2450	～偏見を乗り越えて～ 癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ ～東尋坊からのメッセージ～(パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。

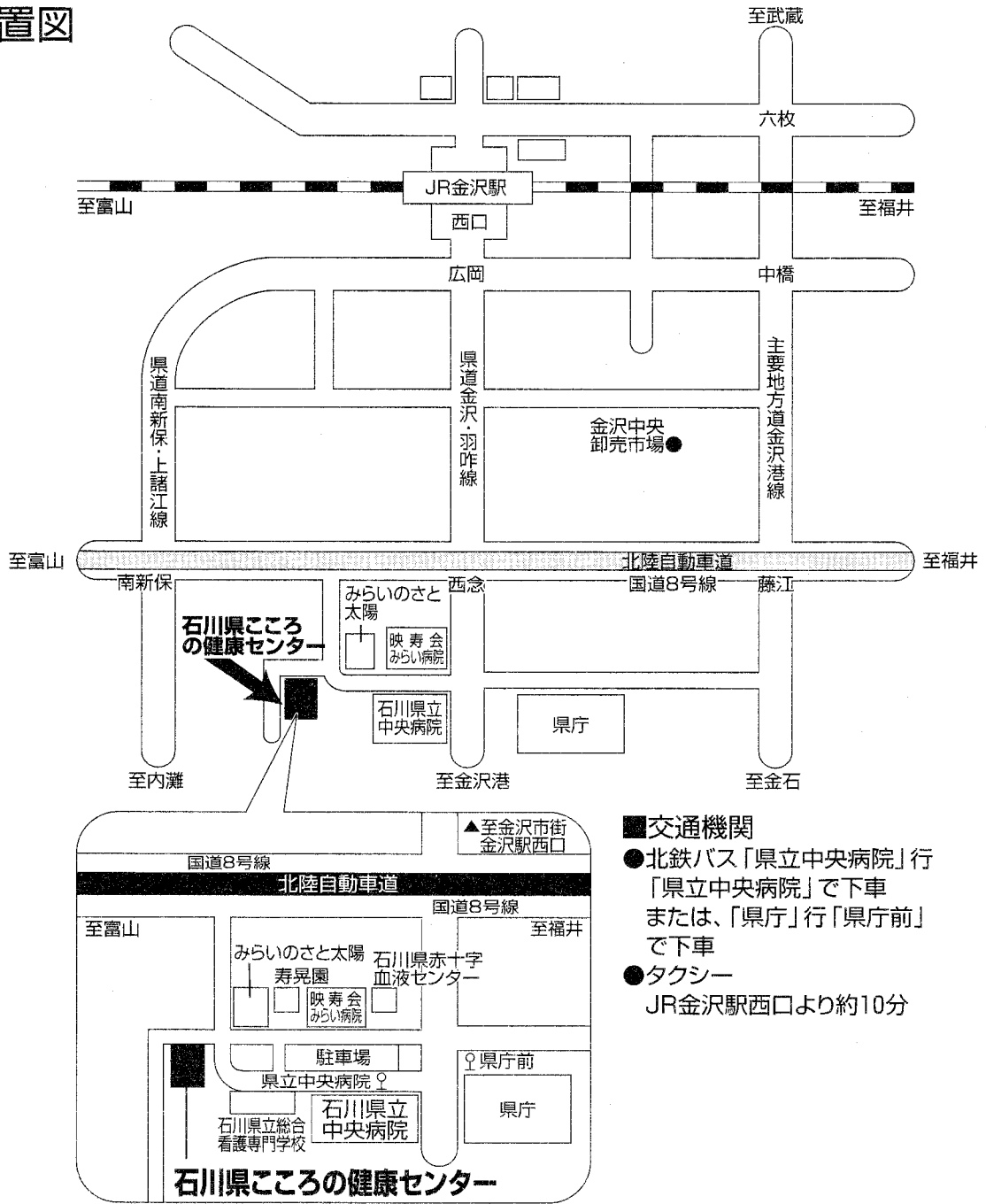
分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
精神保健	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげんに生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッセージなど。
	2458	2014年 世界精神保健デー 統合失調症と共に生きる		一般	DVD	
アルコール関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している。
	2502	アルコールの害シリーズ ～10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している 10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
	2503	アルコールの害シリーズ ～アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ ～女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
	2505	アルコールの害シリーズ ～胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症 ～家族の心理～	23分	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方について。
	2509	アルコール依存症 ～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	スリップ(再飲酒)の兆候・その早期発見から対応まで。
	2510	アルコール依存症 ～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。
	2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か、肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症 ～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。	
2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。	
2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。	
2524	お年寄りとお酒の対策 ～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。	
2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。	
2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ		

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
ア ル コ ー ル 関 連	2528 ~ 2531	アルコール依存症への道 (1) ~ (4)	各 20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人の ことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで 育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症 ~回復プロセスと再発予防~	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存 ~孤独そして絶望からの脱出~	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施 設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指 す施設「ワンダーポート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ ~薬物を使わない新た な人生に向かって~	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
心 理 ・ 面 接 技 法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実 際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようと するもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のための A-B-A 方 式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解 説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってき てもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教 示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれの カードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の 性格や人格像を見極める。
	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方 法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱 庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トゥ フェイス 1巻 ~マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロレー ニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トゥ フェイス 2巻 ~積極技法ほか~	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技 法。
	2615	フェイス トゥ フェイス 3巻 ~技法の統合ほか~	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の 統合。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理 ・ 面接 技 法	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入…技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答…ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 余暇の過ごし方モジュール	23分	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・ 高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。
	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
2637	ひきこもり 支援の実践にあたって	43	一般	DVD		

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理面接技法	2638	ひきこもり 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2639	ひきこもり 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻 「力動的療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法3巻 「システムアプローチ」に基づく	872	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
	2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	

位置図



こころの健康センター所報 第37号

平成27年12月発行

石川県こころの健康センター
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.html> (発達障害支援センター)